



AQUOS R2

SH-03K

取扱説明書 '20.1

はじめに

「SH-03K」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

取扱説明書(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ホーム画面で  ▶ [取扱説明書]

※ はじめてご利用される際にはアプリをダウンロードする必要があります。

取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがdocomo LIVE UX、きせかえの設定が[Platinum White]の場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-03K」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



SH-03K本体



テレビアンテナケーブル SH01



SIM取り出しツール(試供品)



クイックスタートガイド



ご利用にあたっての注意事項

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	16
防水／防塵性能	22

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	28
ドコモnanoUIMカード	31
microSDカード	35
充電	37
電源を入れる／切る	39
基本操作	40
文字入力	45
初期設定	52
着信／充電ランプ	52
画面表示／アイコン	53
アプリ使用履歴	58
マルチウィンドウ	59
ホーム切替	60
アプリ初回起動時の確認画面について	60

docomo LIVE UX

ホーム画面	63
アプリ一覧画面	66

おすすめアプリを利用	73
ホーム画面のバックアップと復元	73
すべてのアプリを表示	74
マイマガジン	74
ホームアプリの情報	74

電話

電話をかける	75
電話を受ける	79
通話中の操作	80
通話履歴	82
通話音声・伝言メモ	83
通話設定／その他	84
電話帳	88

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	92
SMS	92
+メッセージ	95
Eメール	100
Gmail™	102
緊急速報「エリアメール」	103
Chrome	105

カメラ

カメラについて	108
アルバム	118

アプリ

dメニュー	123
dマーケット	123
Play ストア	123
おサイフケータイ	125
テレビ(フルセグ/ワンセグ)	129
GPS/ナビ	136
YouTube	138
時計	138
スケジュール	140
メモ	142
電卓	142
エモパー	142
からだメイト	146
ドコモデータコピー	148

本体設定

設定メニュー	151
ネットワークとインターネット	152
接続済みのデバイス	157
アプリと通知	158
電池	160
ディスプレイ	161
音	165
AQUOS便利機能	166
ストレージ	169
プライバシー	170
位置情報	170

セキュリティ	171
ドコモのサービス/クラウド	178
アカウント	178
ユーザー補助	180
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	181
Google™	181
システム	182
デバイス情報	186
お困りのときは	187

ファイル管理

ストレージ構成	188
ファイル操作	188

データ通信

Bluetooth®機能	190
NFC通信	194

外部機器接続

パソコンなどとの接続	195
プリントサービスによる印刷/保存	197
USBホスト機能	197
キャスト	197
VPN(仮想プライベートネットワーク)	198

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	199
海外で利用可能なサービス	199
海外でご利用になる前に	199
海外で利用するための設定	200
滞在先で電話をかける／受ける	202
国際ローミングの設定	204
帰国後の確認	205

付録／索引

トラブルシューティング(FAQ)	206
あんしん遠隔サポート	212
保証とアフターサービス	213
ソフトウェアアップデート	215
主な仕様	218
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	221
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	222
CAUTION	227
Inquiries	228
輸出管理規制	229
知的財産権について	229
SIMロック解除	233
索引	234

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページをご確認ください。
- また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。

- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogle サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいいないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいいないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいいないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカード、テレビアンテナケーブルの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.22「防水／防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.22「防水／防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.22「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.22「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
P.22「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器を使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部や背面部、カメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモnanoUIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
【P.15「材質一覧」】



指示

本端末の受話口部、スピーカー部、標準アウトカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて



警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス／蒸着、AFコート
ディスプレイ面の周囲	PC樹脂／塗装、ハードコート
背面	強化ガラス／蒸着、AFコート
外装(金属部)	アルミニウム／アルマイト処理
外装(樹脂部)	PBT樹脂(ガラス入り)
受話口(レシーバー)メッシュ	ステンレス／電着塗装
指紋センサー	エポキシ樹脂／塗装、ハードコート
指紋センサー飾り	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス／ARコート、AFコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
イヤホンマイク端子の周囲	PBT樹脂(ガラス入り)
USB Type-C™接続端子の周囲	PBT樹脂(ガラス入り)
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ(外装部)	アルミニウム／アルマイト処理
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ	PA樹脂(ガラス入り)
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム
IMEIプレート	PET樹脂／ラミネート

テレビアンテナケーブル SH01

使用箇所	材質／表面処理
イヤホンマイク端子(樹脂部)	エラストマー樹脂
イヤホンマイク端子(金属部)	ニッケル下地、真鍮／金メッキ
コード	エラストマー樹脂
プラグ(樹脂部)	エラストマー樹脂、PP樹脂、POM樹脂
プラグ(金属部)	ニッケル下地、真鍮／金メッキ

SIM取り出しツール

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス

試供品(SIM取り出しツール)の取り扱いについて



警告



禁止

SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明などの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-03Kは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
アダプタ、ドコモnanoUIMカード、テレビアンテナケーブルは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所での使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れたり座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場での使用については以下をご参照ください。
☞ P.22「SH-03Kが有する防水／防塵性能でできること」
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様で自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
☞ P.28「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・ 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様で自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で
[] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8:想定される干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

■ 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。

- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で[設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■■■■■■: 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1~13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- ・ W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- ・ W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- ・ W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz／5.3GHz帯無線LAN(W52／W53)の屋外利用は電波法で禁止されています。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [認証]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品(SIM取り出しツール)についてのごお願い

- SIM取り出しツールを、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ取り出し用の穴以外の穴などに挿入しないでください。
故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。
故障、破損の原因となります。
- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で[]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[認証]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SH-03Kは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-03Kを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-03Kが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

● 風呂場で使用できます。

- 常温の水道水以外の液体(温泉水やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
- 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
- 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。
- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができません場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
 - ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
 - 防水／防塵性能を維持するため、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
 - ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉については※P.32「取り付けかた」
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-03KはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- オプション品は防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

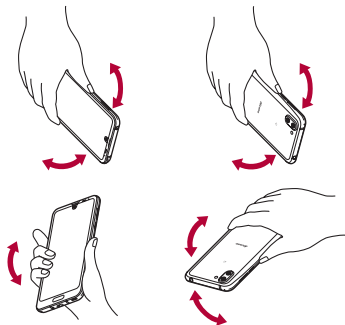
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

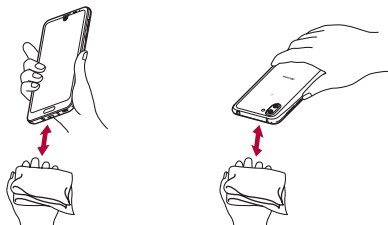


送話口／マイク、スピーカーの水抜きのために送話口／マイク、スピーカーを下にして振る

受話口、マイクの水抜きのために受話口、マイクを下にして振る

3 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

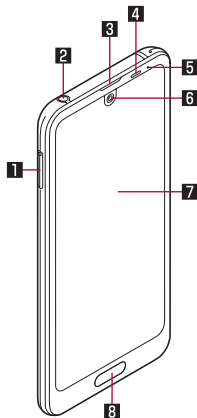
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ(別売)は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ

- ドコモnanoUIMカードについてはP.31「ドコモ nanoUIMカード」
- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

2 イヤホンマイク端子

3 受話口

4 近接センサー／明るさセンサー

- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないください。センサーが正常に動作しないことがあります。

5 着信／充電ランプ

- 着信／充電ランプについてはP.52「着信／充電ランプ」

6 インカメラ

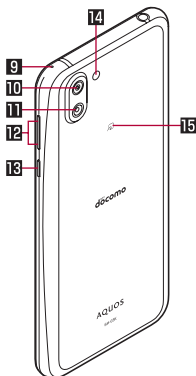
- カメラの利用についてはP.108「カメラについて」

7 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.40「タッチパネルの操作」

8 指紋センサー

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.175「指紋認証」



9 マイク

- 動画撮影時に利用します。
- くっきりトーク利用時に、自分の声を明瞭にして相手に伝えるため周囲のノイズを測定します。
- ハンズフリー通話中は送話口として利用します。

10 動画専用アウトカメラ(ドラマティックワイドカメラ)

- 動画撮影専用の広角カメラです。
動画撮影時に画角切替を[**WIDE**]に設定すると利用できます。
- カメラの利用についてはP.108「カメラについて」

11 標準アウトカメラ

- 静止画／動画撮影の両方で利用できる標準カメラです。
動画撮影時には画角切替を[**STD**]に設定すると利用できます。
- カメラの利用についてはP.108「カメラについて」

12 **(+)**／**(-)**:音量UP／DOWNキー

- 各種音量を調節します。

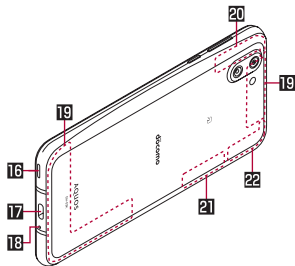
13 **0**:電源キー

- 電源が切れているときに3秒以上長押しすると電源を入れることができます。また電源が入っているときに2秒以上長押しすると、[電源を切る] [再起動] [画面の保存] [非常用節電モード] [故障かな?と思ったら] [緊急通報]のメニューを利用できます。
- ディスプレイの表示／非表示を切り替えます。
- 電源キーの操作についてはP.39「電源を入れる／切る」

14 モバイルライト

15 **0**マーク

- I Cカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- **0**マークの利用についてはP.125「おサイフケータイ」



16 スピーカー

- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

17 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- USB Power Delivery充電に対応しています。
- 外部機器との接続についてはP.37「充電」、P.195「パソコンなどとの接続」、P.197「USBホスト機能」

18 送話口／マイク

- 動画撮影時やエモパーにお話する際はマイクとして利用します。

19 LTE／FOMAアンテナ※

20 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※

21 Wi-Fiアンテナ※

22 GPS／LTE／FOMAアンテナ※

※ 背面のアンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

IMEIプレートについて

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報（端末識別番号）、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。
IMEIプレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」（P.214）をご参照ください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

音量UP／DOWNキーについて

- / を押して音量バーを表示させると、マナーモードの選択項目（[マナーOFF] / [バイブ] / [ミュート]）が表示されます。繰り返しタッチして、設定したい項目を表示するとマナーモードを設定できます。

モバイルライトについて

- 端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

本端末の強制終了について

- **⓪(電源キー)**を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。パイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ SIM取り出しツール(試供品)

ドコモnanoUIMカード／microSDカードの取り付け／取り外しを行うときに使用します。

SIM取り出しツールの使用方法についてはP.31「ドコモnanoUIMカード」、P.35「microSDカード」

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります(☎P.174「PINコード」)。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

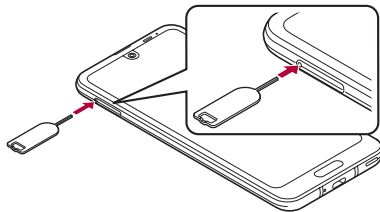
ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しについて

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

■ 取り付けかた

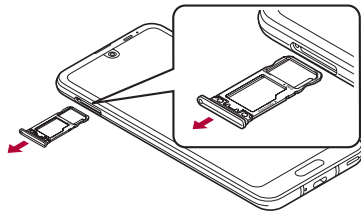
1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

- カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。
水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。



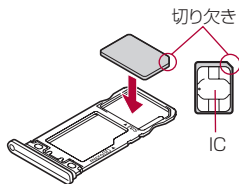
2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

- カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。



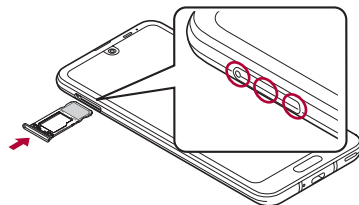
3 ドコモnanoUIMカードの I C面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
 - ドコモnanoUIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
 - ドコモnanoUIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
- 浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



4 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



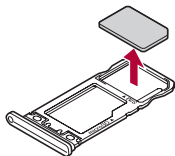
■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの着脱について詳しくは、「取り付けかた」(P.32)をご参照ください。

1 SIM取り出しツールを利用してドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す

- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。

2 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードやドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているドコモnanoUIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。
- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-03Kでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、512GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大クラス10、UHSスピードクラス※はクラス1 (DDR50)まで使用できます(2020年1月現在)。
※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh03k/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(※P.169「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

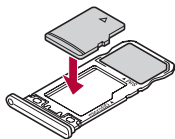
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け/取り外しについて

- microSDカードの取り付け/取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- microSDカードの取り付け/取り外しは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- microSDカードの取り付け/取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。
- ドコモnanoUIMカード/microSDカードトレイの着脱方法や、着脱時の注意事項などは、ドコモnanoUIMカードの取り付け/取り外しと同様です。詳しくは、「ドコモnanoUIMカード」(※P.31)をご参照ください。

■ 取り付けかた

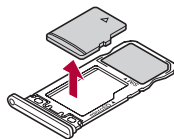
- 1 SIM取り出しツールを利用してドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す
- 2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける
 - microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
 - microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



- 3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

■ 取り外しかた

- 1 SIM取り出しツールを利用してドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す
 - 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。
- 2 microSDカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



- 3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.218「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます）。
- 充電完了後、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）を長時間挿したままにすると、充電量が減少します。この場合、ACアダプタやDCアダプタから再び充電を行います。ACアダプタやDCアダプタを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電しながらテレビの視聴などを長時間行くと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

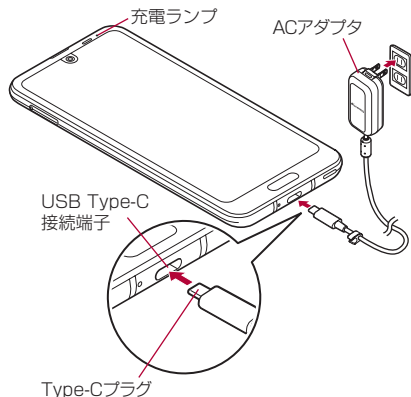


ACアダプタで充電

ACアダプタ 07(別売)を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



- 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しても充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ 05(別売)は、自動車のアクセサリソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 01(別売)が必要です。詳細については、DCアダプタ 05の取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01 (別売)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.195「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 〇(電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(P.52「初期設定」)。

■ 電源を切る／再起動／非常用節電モード

1 〇(電源キー)(2秒以上)

2 項目を選ぶ

- **電源を切る**: 端末の電源を切ります。
- **再起動**: 端末を再起動します。
- **画面の保存**: 画像保存についてはP.44「スクリーンショットの撮影」
- **非常用節電モード**: 非常用節電モードについてはP.44「非常用節電モード」
- **故障かな?と思ったら**: 故障かな?と思ったらについてはP.187「セルフチェック」
- **緊急通報**: 緊急通報についてはP.77「緊急通報」

■ ディスプレイの表示／非表示

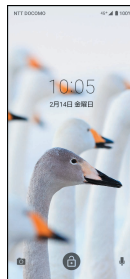
〇(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。
ディスプレイが消えているときに〇(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[

- ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像は、自動的に切り替わります。
自動的に切り替わらないようにするには[ロックフォトシャッフル]をOFFに設定します(P.161「ディスプレイ」)。



タッチパネルのロック画面の操作

- カメラの起動: [カメラ]
- my daizの起動: [my daiz]
- 時計の起動: 時計をタッチ
- ステータスパネルの表示: 画面を下にドラッグ
- ステータスパネルを展開して表示: ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.159「ロック画面の通知」
- エモパーをONにしている場合、時計の下にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。
また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - エモパーがONの場合、時計をタッチしても「時計」アプリは起動しません。
 - エモパーについてはP.142「エモパー」

基本操作

タッチパネルやナビゲーションキーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作*
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

※ [グローブモード]がONの場合、手袋を装着したまま使用できます(P.161「ディスプレイ」)。

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違えて触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀/◻: 戻るキー／閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ○: ホームキー

- ホーム画面を表示します。

3 ◻/◻: アプリ使用履歴キー／マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します (P.58「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します (P.59「マルチウィンドウ」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

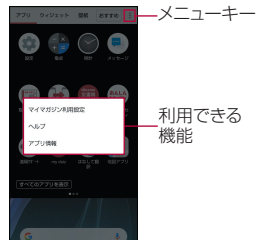
1 [○] をロングタッチ

- 起動するアプリの設定: ホーム画面で [アプリ] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [デフォルト アプリ] ▶ [アシストアプリ] ▶ [アシストアプリ] ▶ アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[⋮] / [≡] などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: アプリ一覧画面



■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効／無効やON／OFFを切り替えることができます。

例：NFC／おサイフケータイ 設定画面、ロック画面の表示設定画面

- [] は有効、[] は無効の状態です。



- [] はON、[] はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

本端末の傾きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます (P.161「ディスプレイ」)。また、ステータスパネルからも設定できます (P.55「ステータスパネルの利用」)。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます(※P.167「Clip Now」)。

1 〇(電源キー)(2秒以上) ▶ [画面の保存]

- [電源を切る]、[再起動]などのメニューは撮影されません。
- 〇(電源キー) + 〇(←)を1秒以上押しても、表示中の画面を画像として撮影できます。
- テレビを表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

非常用節電モード

端末の設定や機能を制限して内蔵電池の使用時間を長くすることができます。

1 〇(電源キー)(2秒以上) ▶ [非常用節電モード] ▶ [OK]

- 本端末が再起動し、非常用節電モードに切り替わります。

■ 非常用節電モードの解除

1 〇(電源キー)(2秒以上) ▶ [非常用節電モード] ▶ [OK]

- 非常用節電モード画面で[節電解除] ▶ [OK]でも非常用節電モードを解除することができます。
- 本端末が再起動し、非常用節電モードが解除されます。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面で「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Google]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。
- [その他] ▶ [設定]と操作すると、検索の設定ができます。

2 キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[▼]をタッチしてキーボードを閉じてください。

文字入力

QWERTYキーボードとテンキーボードを利用して文字入力をしたり、音声で入力したりできます。

- キーボードや入力方式の切り替えについてはP.47「文字入力の設定」
- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTY キーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
テンキー ボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 ● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード



テンキーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- [左向き矢印]: タッチすると、ツールバーをスクロールします。
- [歯車]: 文字入力の設定項目が表示されます。
 - ・設定について詳しくは、「文字入力の設定」(P.47)をご参照ください。
- [ドットマトリックス]: ドラッグすると、キーボードの位置を調整できます。
- [キーボードアイコン]: タッチすると、キーボードを画面下部から切り離します。[ドットマトリックス]をドラッグすると、画面内の任意の場所にキーボードを配置できます。[ドットマトリックス]をタッチしてバーを左右にドラッグすると、キーボードの透過を調整できます。[キーボードアイコン]をタッチすると画面下部に戻ります。
- [サイズ調整ハンドル]: ドラッグすると、キーボードのサイズを調整できます。
- [履歴アイコン]: タッチすると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けたり、履歴をすべて削除できます。
- [音声入力アイコン]: 音声入力ができます。
 - ・音声入力について詳しくは、「音声で入力」(P.51)をご参照ください。
- [閉じるアイコン]: タッチすると、ツールバーを閉じます。
 - ・ツールバーを表示する場合は、[上向き矢印]をタッチします。

2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えます。
 - ・ [下向き矢印]: 小文字で入力します。
 - ・ [上向き矢印]: 最初に入力する文字を大文字で入力します。
 - ・ [左向き矢印]: 大文字で入力します。
 - ・ 大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - ・ タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - ・ 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

4 削除キー

- [文字削除キー動作]で設定した方向の文字を消します (P.49「キー操作」)。
- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 確定キー／改行キー／スペースキー／変換キー

- [確定]: 入力中の文字を確定します。
- [改行]: カーソルの位置で改行します。
- [スペース]: スペースを入力します。
- [変換]: 通常変換候補を表示します。
 - ・ テンキーボードで表示するには、あらかじめ[変換キー表示(テンキーボード)]を有効にしておいてください (P.48「表示」)。
- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

6 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字リスト／デコメ絵文字®を表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。
- ロングタッチすると、入力拡張プラグイン(文字入力に関する機能を拡張するアプリ)が表示されます。初期状態で表示される[位置情報]をタッチし、画面の指示に従って操作すると、現在位置の情報を入力できます。

7 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

8 逆トグルキー／戻すキー

- [↩] : タッチすると入力した文字から逆回しで文字を入力することができます。
- [戻す] : タッチすると直前に確定した文字を未確定状態に戻したり、直前に削除した文字を5回分の操作まで戻すことができます。

9 大文字・小文字キー／スペースキー

- [大・小] : 入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- [A-a] : 入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、上にフリックしてアポストロフィを入力したりします。
- [] : スペースを入力します。

ツールバーについて

- ツールバーの[]をタッチすると、ツールバーに表示する設定アイコンを選択することができます。挿入箇所をタッチ▶挿入する設定項目をタッチと操作してください。

文字入力の設定

1 文字入力画面で[]

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**: 使用するキーボードのタイプを設定します。
- **入力モード切替**: 入力モードを設定します。
- **単語登録**: ユーザー辞書に単語を登録します。
- **キーボードイメージ**: キーボードの色やデザインを設定します。
- **キー操作**: 文字入力時の操作音やバイブレーションについて設定します。
- **フリック・トグル**: フリック感度やトグル入力などについて設定します。
- **外部アプリ連携**: ネット変換エンジンや自動外部変換を利用するか設定します。
- **辞書**: ユーザー辞書やダウンロード辞書の設定を行います。
- **学習辞書リセット**: 学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**: S-Shoinの設定をリセットします。
- **その他**: その他については、P.48「表示」、P.48「予測／変換」、P.49「キー操作」、P.49「外部アプリ連携」、P.49「辞書」、P.49「その他」

■ 表示

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [表示]

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**: 使用するキーボードのタイプを画面の向き、入力モードごとに設定します。
- **一括シンプル切替**: 見やすいデザインのキーボードを利用するか設定します。
- **キーボードイメージ**: キーボードの色やデザインを設定します。
- **数字キーを表示**: QWERTYキーボード利用中に入力モードを半角数字／全角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるか設定します。
- **カナ英数キー表示**: カナ英キー／カナ英数キーを表示するか設定します。
 - 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字／英数字や記号の変換候補(カナ英字／カナ英数変換候補)を表示します。
- **変換キー表示(テンキーボード)**: テンキーボード利用中に変換候補欄に通常変換候補を表示する変換キーを表示するか設定します。
- **ガイド表示**: テンキーボードで入力モードをひらがな漢字に設定したときに、キーボード上にカナ英数入力ガイドを表示するか設定します。
- **候補表示エリア**: 入力候補リストを表示する行数を設定します。

■ 予測／変換

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [予測／変換]

2 項目を選ぶ

- **日本語候補学習**: 日本語候補学習を有効にするか設定します。
- **日本語予測変換**: 日本語予測変換を有効にするか設定します。
- **日本語ワイルドカード予測**: ひらがな漢字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **半角スペース入力**: 全角入力時にも半角スペースを入力するか設定します。
- **候補学習**: 候補学習を有効にするか設定します。
- **予測変換**: 予測変換を有効にするか設定します。
- **ワイルドカード予測**: 半角英字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **自動スペース入力**: 半角英字入力で英単語を選択したあとと半角スペースを自動的に挿入します。
- **自動大文字変換**: 半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。

[自動スペース入力]、[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ キー操作

1 文字入力画面で[⚙] ▶ [その他] ▶ [キー操作]

2 項目を選ぶ

- **キー操作音**: 文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作パイプ**: 文字入力時にパイプレータを動作させるか設定します。
- **キー操作パイプ時間**: キー操作パイプでパイプレータが動作する時間を設定します。
- **キーポップアップ**: 文字入力エリアでキーをタッチしたときにフリックガイドのポップアップを表示するか設定します。
- **括弧内カーソル移動**: 対応する括弧(「」, 「」など)の入力時に、括弧内にカーソルを自動で移動させるか設定します。
- **文字削除キー動作**: 削除キーの動作を設定します。
- **フリック感度**: フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **トグル入力**: トグル入力を利用するか設定します。
- **自動カーソル移動**: トグル入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **サービス接続先**: 音声入力の接続先を設定します。

[文字削除キー動作]について

- [右側削除(クリア)]に設定した場合、カーソルが文末のときはカーソル左側の文字を消します。

■ 外部アプリ連携

1 文字入力画面で[⚙] ▶ [その他] ▶ [外部アプリ連携]

2 項目を選ぶ

- **ネット変換エンジン**: インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動外部変換**: 自動でネット変換するか設定します。

■ 辞書

1 文字入力画面で[⚙] ▶ [その他] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **日本語**: 日本語ユーザー辞書の登録／編集／削除をします。
- **英語**: 英語ユーザー辞書の登録／編集／削除をします。
- **ダウンロード辞書**: 利用するダウンロード辞書を設定します。
- **ダウンロード辞書を追加**: シャープのサイトに接続し、辞書をダウンロードできます。

■ その他

1 文字入力画面で[⚙] ▶ [その他] ▶ [その他]

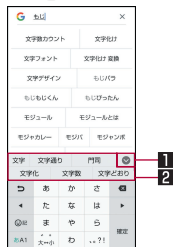
2 項目を選ぶ

- **学習辞書リセット**: 学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**: S-Shoinの設定をリセットします。
- **バージョン情報**: S-Shoinのバージョンを確認できます。
- **利用規約・プライバシーポリシー**: 利用規約やプライバシーポリシーを確認できます。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



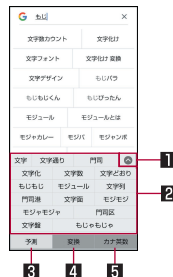
1 拡大

- 変換候補欄を拡大します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。

2 [🔍]



1 縮小

- 変換候補欄を縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 予測

- 予測候補を表示します。

4 変換

- 変換候補を表示します。

5 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号などの変換候補を表示します。

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[日本語ワイルドカード予測]、[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(※P.48「予測／変換」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶]をタッチするたびに[○]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🗣️]

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
 - 声が大きすぎる場合
 - 周囲の雑音が大きい場合
 - 発声が明瞭でない場合
 - 発声が不自然な場合
 - 発声速度が速すぎる場合
 - キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [●]／[●]をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択]をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[⋮]が表示されます。タッチするとメニューが表示されます。

- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの設定 (P.178「Googleなどのアカウントの設定」)
 - Googleサービス
 - 画面ロックを選択

ドコモサービスの初期設定

1 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら[上記のリンク先の内容に同意する]▶[次へ]

2 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。設定しない場合は[スキップ]/[いいえ]をタッチします。設定が完了した場合は[設定完了]をタッチします。
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定
 - その他の設定項目

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信あり、新着メールあり

- アプリによっては、着信ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

[電池残量アイコン]：電池残量が約15%以下

[不在着信アイコン]：不在着信あり (P.82「通話履歴」)

[SMSアイコン]：新着SMSあり (P.92「SMS」)

[+メッセージアイコン]：新着+メッセージあり (P.95「+メッセージ」)

[メールアイコン]：新着メールあり (P.100「Eメール」)

[Gmailアイコン]：新着Gmailあり (P.102「Gmail™」)

[新着エリアメールアイコン]：新着エリアメールあり (P.103「緊急速報「エリアメール」」)

[エラー表示アイコン]：エラー表示

- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

[dアカウントの認証失敗アイコン]：dアカウントの認証失敗 (P.178「ドコモのサービス／クラウド」)

[データ通信が無効アイコン]：データ通信が無効 (P.155「データの警告と制限」)

- データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

[アラーム情報ありアイコン]：アラーム情報あり (P.138「アラーム」)

[31]：カレンダーのスケジュール通知あり

テレビ情報あり (P.129「テレビ(フルセグ／ワンセグ)」)

[テレビ視聴中アイコン]：視聴中／受信中

[録画中アイコン]：録画中

[予約ありアイコン]：予約あり

- 予約ありアイコンは予約時刻の5分前になると表示されます。

電話表示 (P.75「電話」)

[発信中アイコン]：発信中／着信中／通話中

[保留中アイコン]：保留中

[伝言メモありアイコン]：伝言メモあり (P.83「通話音声・伝言メモ」)

[留守番電話の伝言メッセージありアイコン]：留守番電話の伝言メッセージあり (P.85「ネットワークサービス」)

[microSDカード表示アイコン]：microSDカード表示 (P.169「ストレージ」)

[本体メモリの空き容量低下アイコン]：本体メモリの空き容量低下 (P.169「ストレージ」)

[おまかせロック設定中アイコン]：おまかせロック設定中

Bluetooth表示(☞P.190「Bluetooth®機能」)

: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり

: データ受信要求あり

データ送受信表示

: 送信表示

: 受信表示

アプリ表示

: アップデートあり

: アプリのインストール完了

: オープンネットワークあり(☞P.154「Wi-Fiの設定」)

テザリング表示(☞P.156「テザリング」)

: [USB テザリング]が有効

: [Bluetooth テザリング]が有効

: 複数のテザリングが有効

: VPN接続(☞P.198「VPNの追加」)

: ソフトウェアアップデート情報あり(☞P.215「ソフトウェアアップデート」)

: [グローブモード]が有効(☞P.161「ディスプレイ」)

■ 主なステータスアイコン一覧

: アラーム設定中(☞P.138「アラーム」)

 ~ : 電池残量表示(☞P.160「電池」)

- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示は[電池残量]で切り替えられます。

電波状態表示

 ~ *: レベル表示(5段階)

: 圏外

- データ受信中は[]、データ送信中は[]が電波マークに重なって表示されます。
- 4G(LTE)／3G／GSM／HSPA使用可能時は、電波マークの左側に[4G+]／[3G]／[G]／[H]が表示されます。
- LTE接続時は常に[4G+]が表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。

Wi-Fi電波状態表示(☞P.152「Wi-Fi」)

 ~ *: レベル表示(5段階)

: 機内モード中(☞P.152「ネットワークとインターネット」)

NFC／おサイフケータイ ロック状態表示(☞P.127「NFC／おサイフケータイ ロック」)

: 端末とドコモnanoUIMカードをロック中

: 端末またはドコモnanoUIMカードをロック中

おまかせロック状態表示

: 端末とドコモnanoUIMカードを遠隔操作でロック中

: 端末またはドコモnanoUIMカードを遠隔操作でロック中

: [Reader/Writer, P2P]が有効( P.128「NFC／おサイフケータイ 設定」)

: [Wi-Fiテザリング]が有効( P.156「テザリング」)

マナーモードのモード表示( P.57「マナーモードのモード切替」)

: マナーモード(バイブ)

: マナーモード(ミュート)

: 高度なマナーモード設定中( P.57「マナーモードの高度な設定」)

通話中表示( P.80「通話中の操作」)

: ハンズフリー通話中

: ミュートに設定中

: Bluetooth通信中( P.190「Bluetooth®機能」)

: 位置情報をGPSで測位中( P.170「位置情報」)

伝言メモ表示( P.83「通話音声・伝言メモ」)

: 伝言メモ設定中で伝言メモが0件

: 伝言メモ設定中で伝言メモが1～49件

: 伝言メモ設定中で伝言メモが50件

※ インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、／のように電波状態表示にが重なって表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

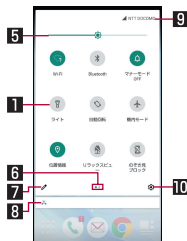
- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ 通知／ステータスパネルの見かた



ステータスパネル



ステータスパネル
(展開時)

1 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - ・ 対応するアプリの起動や操作：詳細情報や機能をタッチ
 - ・ 詳細表示／簡易表示の切替：詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチイン
 - ・ 詳細情報の消去：詳細情報を左右にフリック
 - ・ アプリの通知について設定：詳細情報をロングタッチ
▶ 画面の指示に従って操作

3 管理

- 通知を表示するアプリが表示されます。
アプリごとに通知を許可するか設定します。

4 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

7 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

8 隠れている通知詳細情報

- 隠れている通知詳細情報をアイコン表示します。
- ステータスパネルを展開していなくても、隠れている情報がある場合は表示されます。

9 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

10 設定

- 「設定」アプリを起動します。

- 不在着信の通知がある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると「発信」、「メッセージ」が表示されます。タッチして電話をかけたりSMSを送信したりできます。
- アプリによっては、メッセージを受信した際に、ステータスパネルで返信操作を行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

■ マナーモードのモード切替

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ステータスパネルで[マナーモード]をタッチしてモードを選ぶ

- 設定するマナーモードが表示されるまで繰り返しタッチします。

■ マナーモードの高度な設定

利用シーンに合わせたマナーモードを設定します。

1 ステータスパネルで[マナーモード]をロングタッチ▶[高度なマナーモード]

2 項目を選択

- **通話**: 着信した場合の例外動作を設定します。
- **SMS、MMS、メッセージ アプリ**: メッセージが届いた場合の例外動作を設定します。
- **すべての例外を表示**: [高度なマナーモード]がONの場合の例外動作を設定します。
- **通知の制限**: 通知が届いた場合の動作を設定します。
- **デフォルトの期間**: [高度なマナーモード]がOFFになるまでの期間を設定します。[スケジュール]が設定された場合は[スケジュール]の設定に従います。
- **スケジュール**: [高度なマナーモード]のON/OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。

3 [今すぐONにする]

- [高度なマナーモード]がONになり、設定した項目の内容に合わせて動作します。[今すぐOFFにする]をタッチすると解除されます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。

- 静止画撮影時のシャッター音
- 静止画撮影時のフォーカスロック音
- 動画撮影時の開始音/停止音

- 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

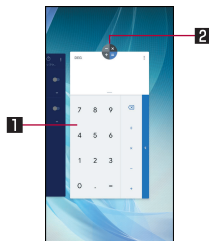
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

2 履歴を利用する

- [□] をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 上にフリックすると履歴を削除できます。
- 履歴を右にフリックし、[すべてクリア] をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。

2 アプリアイコン

- タッチするとアプリ情報の確認や分割画面(※P.59「マルチウィンドウ」)が利用できます。また、選択したアプリ以外を使用できないように、画面を固定することもできます。
- 画面固定を利用する場合は、あらかじめ[画面の固定]をONに設定しておいてください(※P.171「セキュリティ」)。
- 画面固定: アプリアイコンをタッチ ▶ [固定]
- 画面固定を解除: [◀] + [□] をロングタッチ

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

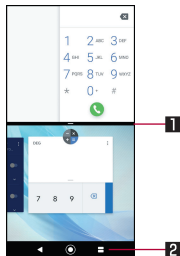
マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 [□]

2 各履歴のアプリアイコンをタッチ▶[分割画面]

- 画面が上下に分割され、[□]の表示が[■]に変わります。選択したアプリが上側に配置され、下側にはアプリ使用履歴が表示されます。
アプリ使用履歴やホーム画面からアプリを起動すると、マルチウィンドウの下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。



1 セバレータ

- 上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 表示サイズ(※P.161「ディスプレイ」)を[小]に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[□]と同様です。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム切替

利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。

- 初期状態は、端末に次のホームアプリが登録されています。

- docomo LIVE UX

ドコモのスマートフォン向けに使いやすく最適化されたホームアプリです。

- AQUOS Home

ウィジェット／ショートカットを配置するデスクトップシート、アプリが一覧表示されるアプリシート、お気に入りアプリのショートカットを登録できるお気に入りトレイで構成されたホームアプリです。

- AQUOSかんたんホーム

アプリが一覧表示されるアプリシートのみになり、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ホーム切替]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面・ホーム一括切替**：ロック画面とホームアプリを切り替えます。
- **ホーム切替**：ホームアプリを切り替えます。

- ホームアプリにかかわらず、my daizを音声起動できない場合は、ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Google] ▶ [アカウントサービス] ※ ▶ [検索、アシスタントと音声] ▶ [音声] ▶ [Voice Match] から、[Voice Matchでアクセス] を無効にしてください。

※ [アカウントサービス] は表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

AQUOSかんたんホームについて

- AQUOSかんたんホームではウィジェット／ショートカットを利用できません。

そのため、AQUOSかんたんホームを利用している状態で、各アプリの機能からショートカットをホーム画面に追加しても、AQUOSかんたんホームには表示されません。

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例:アルバムを起動したとき

1 「アプリに必要な許可」の確認画面で[次へ]



2 [許可] / [許可しない]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ
- 4 [許可] / [許可しない]

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [権限マネージャ]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ
- 4 [許可] / [許可しない]

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ／機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する]／[最適化しない] ▶ [完了]

docomo LIVE UX

ホーム画面を直感的にカスタマイズでき、世の中のトレンドや、お客様一人ひとりにあわせたさまざまな情報が雑誌形式で表示される新しい検索サービス「マイマガジン」が利用できるホームアプリです。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[] ▶ []

▶ [ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリやクイックメニューを選択してアプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

- 新しいアプリをインストールすると、ホーム画面にアイコンが追加されます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上に件数が表示される場合があります。



1 マチキャラ

2 アプリ

3 インジケータ

- ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を表します。

4 アプリボタン

- アプリ一覧画面を表示します。

5 ウィジェット

- ウィジェット(Google検索)を起動できます。

6 フォルダ

- フォルダを追加すると、アプリをフォルダに格納できます。

7 マイマガジンボタン

- マイマガジンを利用できます(※P.74「マイマガジン」)。

8 クイックメニュー

- ホーム画面のどのページからでもすばやくアプリを起動できます。

- ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面一覧を表示します。
- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。

- ホーム画面を下にフリックするとアプリ一覧画面を表示します。
- ホーム画面を上フリックするとマイマガジンを利用できます。

ホーム画面の管理

以下の方法でホーム画面の整理を行うことができます。

■ アプリなどの移動

- 1 ホーム画面でアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ、または表示された吹き出しの[移動]をタッチしドラッグ
 - ページの端までドラッグすると、前／次のページが表示され、前／次のページに移動できます。
 - アプリアイコンの上にアプリアイコンをドラッグすると、フォルダ作成についての確認画面が表示されます。[作成する]をタッチすると、2つのアプリを格納したフォルダが作成されます。

■ アプリをアプリ一覧画面に戻す

- 1 ホーム画面でアプリアイコンをロングタッチ
- 2 [アプリ一覧に戻す]

■ ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面でウィジェットなどをロングタッチ
- 2 [ホーム画面から削除]

- アプリが格納されているフォルダを削除しても、アプリはアンインストールされません。

■ アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアプリアイコンをロングタッチ
- 2 [アンインストール] ▶ [OK]

■ フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選ぶ
- 2 フォルダ名をタッチ
- 3 フォルダ名を入力

■ クイックメニューの設定

アプリやフォルダなどを配置することができます。

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどをロングタッチ
- 2 クイックメニューまでドラッグ
 - アプリの上にアプリをドラッグすると、フォルダ作成についての確認画面が表示されます。[作成する]をタッチすると、2つのアプリを格納したフォルダが作成されます。

■ ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ
- 2 項目を選ぶ
 - **フォルダを作成**: フォルダを追加します。

- **壁紙を変更**: アプリ一覧画面の壁紙タブを表示します。壁紙を変更の詳細についてはP.65「壁紙の変更」
- **きせかえを変更**: きせかえを変更することができます。きせかえの詳細についてはP.65「きせかえの変更」
- **ウィジェットを表示**: アプリ一覧画面のウィジェットタブを表示します。
- **マチキャラ設定**: マチキャラについて設定します。マチキャラ設定の詳細についてはP.65「マチキャラ表示方法」
- **ホーム画面一覧**: ホーム画面一覧を表示します。ホーム画面一覧の詳細についてはP.66「ページの管理」
- **配置のバックアップと復元**: ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。配置のバックアップと復元の詳細についてはP.73「ホーム画面のバックアップと復元」

壁紙の変更

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙を変更]
- 2 [写真の一覧から選ぶ]／[他の壁紙を選ぶ]
 - 写真の一覧やアプリから壁紙を選択できます。画面の指示に従って操作してください。
 - [SHSHOWからダウンロード]の場合は、シャープのサイトに接続し、壁紙をダウンロードできます。

きせかえの変更

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[きせかえを変更]
- 2 きせかえを選ぶ▶[設定]

マチキャラ表示方法

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[マチキャラ設定]
- 2 「キャラ表示」の[]／[]

ページの管理

■ ページの追加

- ページは最大7ページまで追加できます。

1 ホーム画面でピンチイン

- ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶
[ホーム画面一覧]でもホーム画面一覧を表示します。

2 [+]

■ ページの並べ替え

1 ホーム画面でピンチイン

- ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶
[ホーム画面一覧]でもホーム画面一覧を表示します。

2 サムネイルをロングタッチ

3 移動先までドラッグ

■ ページの削除

1 ホーム画面でピンチイン

- ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶
[ホーム画面一覧]でもホーム画面一覧を表示します。

2 [×]

アプリ一覧画面

アプリ一覧画面の見かた

アプリ一覧画面には、搭載されているアプリのうち、ホーム画面に追加されていないものがアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリを起動することができます。また、ウィジェットの追加や壁紙の変更をすることもできます。

- アプリをアンインストールするとアイコンが削除されます。



1 アプリの一覧

- 左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。

2 すべてのアプリを表示

- アプリを検索できます(☞P.74「すべてのアプリを表示」)。

3 インジケータ

- アプリ一覧画面のページ枚数と現在の表示位置を表します。

4 ホーム画面

- ホーム画面の一部が表示されています。
- 上にフリックするとホーム画面を表示します。
- 左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。

5 アプリタブ

- ホーム画面に追加されていないアプリを表示します。

6 ウィジェットタブ

- ホーム画面にウィジェットを追加することができます。

7 壁紙タブ

- 壁紙を変更することができます。

8 「おすすめ」ボタン

- ドコモがおすすめするアプリを表示します(☞P.73「おすすめアプリを利用」)。

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます(☞P.95「+メッセージ」)。
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(☞P.118「アルバム」)。
	あんしんセキュリティ	ウイルス検知などセキュリティ対策の動作状況の確認や、設定ができるアプリです。スマートフォンを取り巻く脅威と対策のニュースも読めます。
	エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします(☞P.142「エモパー」)。

アイコン	アプリ	概要
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです(※P.212「あんしん遠隔サポート」)。
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます(※P.126「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。
	カメラ	カメラで撮影します(※P.108「カメラについて」)。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます(※P.146「からだメイト」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	コンテンツマネージャー	Android™のアップデートに伴いコンテンツマネージャーはFilesへ変わりました。

アイコン	アプリ	概要
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです(※P.103「緊急速報「エリアメール」」)。
	シャープデータバックアップ	機種変更時に、標準バックアップデータ(連絡先、通話履歴、SMS、カレンダー)、メディアデータ(画像、音楽、動画、文書)を新しい端末へ移行することが可能です。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています(※P.140「スケジュール」)。
	設定	端末の各種設定をします(※P.151「設定メニュー」)。
	地図アプリ	ドコモ地図ナビの地図アプリです。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです(※P.148「ドコモデータコピー」)。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	テレビ	テレビ(フルセグ／ワンセグ)を利用します(※P.129「テレビ(フルセグ／ワンセグ)」)。

アイコン	アプリ	概要
	電卓	電卓を利用します(☞P.142「電卓」)。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができます(☞P.75「電話」)。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(☞P.138「時計」)。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます(☞P.88「電話帳」)。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます(☞P.92「ドコモメール」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

アイコン	アプリ	概要
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです(☞P.128「トルカ」)。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	マイマガジン※1	お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです(☞P.74「マイマガジン」)。
	マクドナルド	マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.137「マップ」)。
	マネレコ	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。
	メール	メールを利用します(☞P.100「Eメール」)。

アイコン	アプリ	概要
	メッセージ	SMSを利用します(※P.92「SMS」)。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています(※P.142「メモ」)。
	モバイルセレクト	ドコモ インフォメーションセンターにお問い合わせの際、自動的に起動し音声ガイダンスの代わりに画面上で問い合わせメニューをご選択いただけるアプリケーションです。
	ローソン	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
	Amazon ショッピング	Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(※P.105「Chrome」)。

アイコン	アプリ	概要
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。
	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります(ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です)。
	dブック マイ本棚	ドコモの電子書籍ストアで購入したコミック・小説・実用書などの閲覧ができるアプリです。また、一部の作品を無料で試し読みできます。
	dヘルスケア	歩数計測や体重管理などが行える健康アプリです。お悩みに応じた健康ミッションをクリアすると、dポイントやクーポンがもらえます。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています(☞P.123「dマーケット」)。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのすすめるサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます(☞P.123「dメニュー」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.102「Gmail™」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.44「端末内やサイトの情報の検索」)。

アイコン	アプリ	概要
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます(☞P.129「iDアプリ」)。
	Instagram	本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人と簡単に共有できます。
	Messenger	携帯電話の連絡先やFacebookの友達・グループにメッセージ送信、音声・ビデオ通話ができます。
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	My docomo	お客様のご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面で[] ▶ [OfficeSuite] ▶ [] ▶ [ヘルプとフィードバック] ▶ [ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。

アイコン	アプリ	概要
	Play ストア	Google Playを利用します(※P.123「Play ストア」)。
	Playムービー & TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play Music※2※3	音楽を再生します。
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン／タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	YouTube	YouTubeを利用します(※P.138「YouTube」)。

- ※1 ホームアプリがdocomo LIVE UX以外の場合に表示されません。
- ※2 本端末はハイレゾオーディオの再生に対応しています。ハイレゾオーディオの再生を行う場合は、あらかじめDolby Atmos®をオフにしておいてください(※P.165「Dolby Atmosの設定」)。
ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドホンやスピーカーが必要です。(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています。)再生できる音楽データは、量子化ビット数とサンプリング周波数の組み合わせが16bitかつ64kHz以上、または24bitかつ44.1kHz以上で、WAV／FLAC／DSD(DSF、DSDIFF)※4形式です。

- ※3 本端末はQualcomm® aptX™ HD audioに対応しています。Qualcomm® aptX™ HD audio対応機器と接続した場合は48kHz／24bitにコンバートして出力します。
- ※4 リニアPCMに変換して再生します。DSD:2.8224/1bit、5.6448MHz/1bitは、PCM:176.4kHz/24bitに変換
DSD:11.2896/1bit、22.5792MHz/1bitは、PCM:352.8kHz/24bitに変換
- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
 - インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(※P.123「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/checkdev.html>
 - [なめらかハイスピード表示]をONにしている場合、アプリをなめらかに表示することができます(※P.161「ディスプレイ」)。

アプリの管理

■ アプリをホーム画面に移動

- 1 ホーム画面で[]▶アプリをロングタッチ
- 2 ホーム画面までドラッグ

■ アプリの移動

- 1 ホーム画面で[]▶アプリをロングタッチ
- 2 移動先までドラッグ

■ アプリのアンインストール

1 ホーム画面で[] ▶ アプリをロングタッチ

2 [アンインストール] ▶ [OK]

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で[] ▶ [おすすめ]

- はじめて使用するときには利用の確認画面が表示され、[おすすめアプリを見る]をタッチすると説明画面が表示されます。説明画面で[おすすめアプリ一覧へ]をタッチするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知も「ON」になります。

2 利用するアプリやサービスを選ぶ

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

- おすすめアプリの一覧画面で[] ▶ 各設定の[]／[]をタッチすると、設定をON／OFFに切り替えることができます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、dアカウントの設定が必要です(※P.178「ドコモのサービス／クラウド」)。

■ ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ ▶ [配置のバックアップと復元]

2 []

3 [バックアップ]

■ ホーム画面を復元する

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ ▶ [配置のバックアップと復元]

2 [最新のバックアップデータを復元]／[バックアップデータ一覧から復元]

3 [復元する]

- [バックアップデータ一覧から復元]を選択したときは、復元するデータを選択 ▶ [復元] ▶ [復元する]

すべてのアプリを表示

アプリを検索する機能です。

1 ホーム画面で[] ▶ [すべてのアプリを表示]

2 アプリを選ぶ

- アプリが起動します。
- [] をタッチすると、選択したアプリにフォーカスが当たった状態で、アプリが配置されたホーム画面／アプリ一覧画面が表示されます。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えは使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

■ 記事の見かた

1 ホーム画面で[]

- 表示するジャンル選択画面が表示されたときは、ジャンルを選択し[OK]をタッチします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタッチ

- [] をタッチすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

■ 表示ジャンル設定

1 ホーム画面で[]

2 [] ▶ [表示ジャンル設定]

- チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上の[] をタッチするとジャンルの並べ替えをすることができます。

ホームアプリの情報

1 ホーム画面で[] ▶ [:] ▶ [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に[今すぐアップデート]が表示され、タッチするとdocomo LIVE UXをアップデートします。

電話

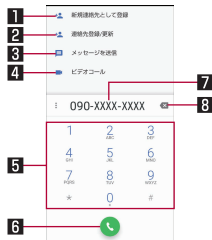
電話や電話帳を利用したり、通話や通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 ホーム画面で[📞]▶[📞]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- あらかじめ登録した番号を先頭に付加：電話番号を入力▶[⋮]▶[プレフィックス選択]▶番号の登録名を選ぶ
- [プレフィックス設定]で登録した番号を付加できます(※P.84「通話設定／その他」)。



1 新規連絡先として登録

- 入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

2 連絡先登録／更新

- 入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

3 メッセージを送信

- 入力した電話番号を宛先にしてSMSを作成します。

4 ビデオコール

- 入力した電話番号にビデオコールで発信します。

5 キーボード

6 発信

- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のためにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

8 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [📞]

4 通話が終了したら[📞]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリア内であること
 - 優先ネットワークタイプが[4G/3G/GSM(自動)]であること(※P.200「優先ネットワークタイプ」)
 - 通話モード設定がONであること(※P.154「モバイル ネットワーク」)

VoLTE(HD+)について

- VoLTE(HD+)は、通話やビデオコールの音声をVoLTEよりさらに高音質で利用することができます。
- VoLTE(HD+)のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、本端末と通話相手の端末がVoLTE(HD+)対応機種である必要があります。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)／待機(:)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[☎]▶[☎]

2 電話番号を入力▶[::]▶[2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力▶[☎]

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[☎]▶[☎]

2 電話番号を入力▶[::]▶[待機を追加]

3 送信する番号を入力▶[☎]

4 通話中に[はい]

ビデオコール

ビデオコールを利用すると、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、通話中に音声通話とビデオコールを切り替えることができます。

- ビデオコールの発信時は通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
- 映像は利用状況に応じて最適な通信となるため、ご利用の環境により品質が異なります。
- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、[ビデオコールへの切替に失敗しました]と表示され、音声通話が継続されます。
- ビデオコールで通話中は、スピーカー部分を覆わないようにしてください。相手の声が聞こえにくくなる場合があります。
- バックグラウンドでビデオコールを利用中は、相手に自分側の映像が送信されません。
- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、着信拒否設定の項目がOFFに設定されます。[着信拒否設定]から設定を戻すことができます(※P.84「通話設定／その他」)。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

【通話方法】

- 一般電話へかける場合：010▶国番号▶地域番号(市外局番)
▶相手先電話番号▶
- 携帯電話へかける場合：010▶国番号▶相手先携帯電話番号
▶
- 相手先の携帯電話番号、地域番号(市外局番)が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域を除く)。
- 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

※ スグ電を利用すると、電話がかかってきたときに、端末を耳に当てるだけで電話を受けることができます(※P.86「スグ電設定」)。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 電話を受ける



1 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

2 クイック返信

- 上にスワイプすると、着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。
- ビデオコールを着信した場合は[ビデオ]が表示されます。上にスワイプすると、音声通話で電話を受けます。

3 通話が終了したら[通話終了]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答] / [ビデオ応答]

- 着信通知をタッチすると、音声通話 / ビデオコール着信画面を表示できます。

■ 音声通話に伝言メモで応答

1 音声通話がかかってくると、着信音が鳴る

2 音声通話着信画面で[伝言メモ]を上にスワイプ▶[伝言メモ]

伝言メモの再生

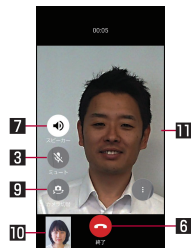
- 1 ホーム画面で[電話]
- 2 [:]▶[設定]▶[通話]
- 3 [通話音声・伝言メモ]
- 4 [伝言メモリスト]
- 5 伝言メモを選ぶ

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



音声通話中画面



ビデオコール通話中画面

1 相手の名前や電話番号

2 ダイヤルキー

- プッシュ信号の入力ができます。

3 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

4 ビデオ切替

- ビデオコールに切り替えます。

5 通話を追加／切り替え

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
- 通話を追加後、[切り替え]をタッチすると、通話相手を切り替えることができます。
- 通話を追加するには、キャッチホン契約が必要です。

6 終了

- 通話を終了します。

7 スピーカー／音声

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

8 保留

- 通話を保留します。保留を解除するには、もう一度タッチします。
- 保留をご利用いただく場合には、キャッチホン契約が必要です。

9 カメラ切替

- インカメラ／標準アウトカメラに切り替えます。

10 自分側の映像

11 相手側の映像

- ハンズフリーやビデオコールで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

■ 通話音量調節

1 通話中に[+] / [-]

■ 音声切替

ビデオコール通話中に音声通話へ切り替えます。

1 通話中に[] ▶ [音声切替]

■ くっきりトークの利用

[くっきりトーク]を有効にすると、通話中にマイクを利用して周囲のノイズを測定し、自分の声を明瞭にして相手に伝えることができます。

1 通話中に[] ▶ [くっきりトーク]

- くっきりトークでは通話を明瞭にするために音声を加工処理しています。周囲のノイズ状態や話しかたにより、音声の聞こえかたが異なる場合があります。
- くっきりトークを利用する場合はマイクの穴をふさがないようにして、送話口をできるだけ近づけてお話しください。
- ハンズフリーで通話中など、相手の声が受話口から出ていないときは、くっきりトークを利用できません。

■ スロートークの利用

[スロートーク]を有効にすると、通話中に相手の声がゆっくり聞こえるようになり、内容を聞き取りやすくします。

1 通話中に[] ▶ [スロートーク]

■ 映像エリア切替

ビデオコール通話中に相手側の映像／自分側の映像の表示エリアを切り替えます。

1 通話中に[] ▶ [映像エリア切替]

■ 通話音声メモ

音声通話中に通話音声メモを録音します。

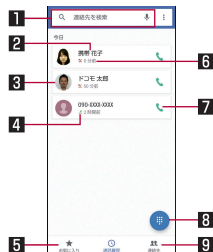
1 通話中に[] ▶ [通話音声メモ]

2 [停止]

通話履歴

通話履歴が最新の履歴から合わせて500件まで本体メモリに記憶されます。

1 ホーム画面で[📞]▶[通話履歴]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [🔍]をタッチすると、音声検索もできます。

2 相手の名前／電話番号

- タッチすると、ビデオコール発信や電話帳への登録、SMSの送信、着信拒否番号の設定、通話の詳細の確認を行うことができます。

3 電話帳に登録している画像

- タッチすると電話帳に登録している内容が表示されます。

4 発信状態アイコン

- 発信:[📞]
- 着信:[📞]
- 不在着信:[📞]
- ビデオコール着信:[📞]

5 お気に入り

- タッチするとお気に入りの連絡先一覧画面を表示します。

6 発信日時

7 発信アイコン

- タッチすると発信します。
- 音声通話発信:[📞]
- ビデオコール発信:[📞]

8 ダイヤルアイコン

- ダイヤル画面を表示します。

9 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 通話履歴一覧画面で[⋮]▶[通話履歴]

2 [すべて]／[不在着信]

- [🗑️]▶[通話履歴を消去]▶[OK]と操作すると、通話履歴を消去できます。

通話履歴の利用

1 ホーム画面で[📞]▶[通話履歴]

2 履歴をロングタッチ

3 項目を選ぶ

- **番号をコピー**: 電話番号をコピーします。
- **発信前に番号を編集**: ダイヤル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
- **着信拒否番号設定**: 迷惑電話ストップサービスか番号指定拒否に登録します。
- **通話履歴から削除**: 履歴を削除します。

通話音声・伝言メモ

通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [通話音声・伝言メモ]

4 項目を選ぶ

- **伝言メモリスト**: 伝言メモの再生や削除などができます。
- **通話音声メモリスト**: 通話音声メモの再生や削除などができます。
- **空き容量確認**: 通話音声・伝言メモの空き容量や残り録音可能件数を確認できます。
- **伝言メモ設定**: 伝言メモの動作について設定します。
- **応答メッセージ確認**: 伝言メモの応答メッセージを確認します。
- **応答時間設定**: 伝言メモの応答時間について設定します。

- 伝言メモ／通話音声メモはそれぞれ50件(1件あたり約60分)まで録音できます。
- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した通話音声メモが最大保存件数を超えた場合は、古い通話音声メモから順に削除されます。
- 伝言メモ／通話音声メモのリスト画面で伝言メモ／通話音声メモをロングタッチ▶[エクスポート]、または伝言メモ／通話音声メモの再生画面で[⋮]▶[エクスポート]と操作し、保存先を選んでアクセスを許可すると、音声本体をメモリ／microSDカードに保存できます。
- ビデオコールでは伝言メモ／通話音声メモを利用できません。

通話設定／その他

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

- 1 ホーム画面で[📞]
- 2 [⋮]▶[設定]▶[通話]
- 3 項目を選ぶ

- **ネットワークサービス**: ネットワークサービスについてはP.85「ネットワークサービス」
- **海外設定**: 国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。海外設定についてはP.204「国際ローミングの設定」
- **通話音声・伝言メモ**: 通話音声・伝言メモについてはP.83「通話音声・伝言メモ」

- **着信拒否設定**: 着信拒否設定についてはP.85「着信拒否設定」
- **応答拒否SMS**: 拒否してSMS送信に使用する文章を編集します。
- **プレフィックス設定**: 国際電話アクセス番号や「186」／「184」など、電話番号の先頭に付ける番号を登録できます。
- **スグ電設定**: スグ電設定についてはP.86「スグ電設定」
- **ドコモへのお問合せ**: 総合お問い合わせ先など、ドコモのお問い合わせ先へ電話をかけます。
 - ・ ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
- **オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。
- **オフィスリンク設定**: オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

[オフィスリンク設定]について

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

ネットワークサービス

1 ホーム画面で

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [ネットワークサービス]

4 項目を選ぶ

- **留守番電話サービス**: 電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- **転送でんわサービス**: 電話を転送するサービスです。
- **キャッチホン**: 通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
- **発信者番号通知**: 電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
- **迷惑電話ストップサービス**: いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
- **番号通知お願いサービス**: 電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- **着信通知**: 着信の情報をSMSでお知らせします。
- **英語ガイダンス**: 各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
- **遠隔操作設定**: 留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- **公共モード(電源OFF)設定**: 電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● ビデオコールでは次の項目を利用できません。

- 留守番電話サービス
- 転送でんわサービス
- キャッチホン

着信拒否設定

1 ホーム画面で

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [着信拒否設定]

4 項目を選ぶ

- **登録外着信拒否**: 電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- **非通知着信拒否**: 電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- **公衆電話着信拒否**: 公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- **通知不可能着信拒否**: 電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
- **番号を追加**: 指定した相手からの着信とSMSを受けないように設定します。

スグ電設定

端末を耳に当てることで電話を受けたり、キーワードを発することで通話を終了するなど、モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [スグ電設定]

4 項目を選ぶ

- **応答**: 端末を耳に当てることで応答できます。
- **ミュート(保留)**: 通話中にミュート(保留)キーワードを含んだ言葉を発したあとに端末を耳から離すことで端末のマイクをOFF(ミュート)にできます。
- **切断**: モーションや音声で切断できます。
 - ・ モーション: 通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで切断できます。
 - ・ 音声: 通話中に切断キーワードを発したあとに端末を耳から離すことで切断できます。
- **発信**: ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発信履歴に登録された相手に発信できます。
- **消音・拒否**: 着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで消音・拒否できます。「消音」、「拒否」、「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。
- **発信ランキング**: 発信回数の多い相手の確認ができます。
- **着信時名前非表示**: 着信時に端末を動かすまで相手の名前を非表示にできます。

- **利用者情報の送信**: 利用者情報の送信について設定できません。
- **ローミング時スグ電無効**: 海外渡航時にスグ電機能を自動的にOFFにできます。

- 次の場合は、スグ電が正しく動作しません。
 - ハンズフリー通話中
 - イヤホンマイク、ヘッドセット利用中
 - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合(ミュート(保留)、切断(音声)、発信(モーション))
 - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
 - 横になっているときや走っているとき、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしているときなど、モーションを正しく検出できない場合
 - フリップカバーを装着していてカバーを閉じているときなど、ディスプレイが覆われている場合
- 着信中、ディスプレイを表示させたまま端末をかばんやポケットに入れると、スグ電が動作して応答や切断が行われる場合があります。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
 - ・ 応答する際、髪の毛の上から端末を耳に当てると反応しない(応答しない)場合があります。その場合は、端末を耳に直接当ててください。
 - ・ 切断(モーション)／消音・拒否する際、黒い机などの上で端末を裏返すと反応しない(切断(モーション)／消音・拒否されない)場合があります。その場合は机などに直接置かず、1cm程度浮かせるように端末を裏返すと反応(切断(モーション)／消音・拒否)します。

- スグ電はビデオコールには対応していません。ただし、[着信時名前非表示]はビデオコールの着信時にも有効です。

- スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、**[X]**を表示しています。
 - ・ ステータスパネル内から通知詳細情報を確認することができます。

スグ電の詳しい情報について

- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/>

【切断】(モーション)について

- モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中)
- 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない(切断できない)場合があります。その場合は、動作をゆっくり行くと反応(切断)します。
- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

【切断】(音声)について

- 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中)

【ミュート(保留)】、【切断】(音声)について

- [ミュート(保留)]、[切断](音声)をONにしている状態で通話しているときは、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ(例:通話録音アプリ)は使用できないことがあります。通話中にご利用になりたい場合は、通話終了後に[ミュート(保留)]、[切断](音声)の両機能をOFFにすることで利用可能になります。
- 伝言メモ、通話音声メモが動作中の場合(応答メッセージの再生中／伝言メモ、通話音声メモの録音中)は、ミュート(保留)、音声での切断ができません。伝言メモ、通話音声メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート(保留)、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または、発話のしかたによっては、音声認識ができない場合があります。

【発信】について

- ホーム画面やタッチパネルのロック画面(画面ロックを[スワイプまたはタッチ]に設定している場合のみ)表示中に発信が可能です。

【消音・拒否】について

- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

【ローミング時スグ電無効】について

- 海外ではスグ電が自動で無効になります。海外でスグ電をご使用になる場合は、【ローミング時スグ電無効】をOFFにしてください。

電話帳

ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

電話帳の登録

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶ 【ドコモ電話帳】

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、【利用する】／【利用しない】を選択してください。

2 【+】

- 新しい連絡先のデフォルトアカウント選択画面が表示された場合は、デフォルトで設定されるアカウントを選択してください。
 - デフォルトで設定されるアカウントは【新しい連絡先のデフォルト アカウント】で変更することができます（※P.90「電話帳を設定」）。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。

1 画像

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 アカウント

- 連絡先を登録するアカウントです。
- タッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目

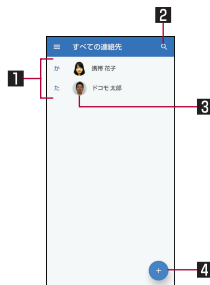
- 住所や誕生日、ラベルなどの情報を登録します。

4 【保存】

電話帳の確認／利用

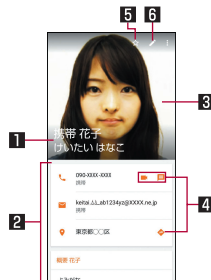
登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶
[ドコモ電話帳]
- 2 名前を選ぶ



- 1 連絡先
- 2 検索アイコン
- 3 画像
- 4 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



- 1 名前
- 2 登録内容
 - 登録内容を確認／利用できます。
- 3 画像
- 4 アクションアイコン
 - [📞]: 選択した電話番号にビデオコールを発信します。
 - [✉️]: 選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
 - [📍]: 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。
- 5 お気に入り
 - お気に入りに設定した連絡先は、電話帳の上部に表示されます。
- 6 編集

■ 表示するラベルやアカウントを選択

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶
[ドコモ電話帳]
- 2 [≡]
- 3 ラベルやアカウントを選ぶ
 - ラベルの作成: [ラベルを作成] ▶ アカウントを選ぶ▶ 名前を入力▶ [OK]

■ 連絡先の設定

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶
[ドコモ電話帳]
- 2 名前を選ぶ▶ [⋮]
- 3 項目を選ぶ
 - **統合**: 複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめます。
 - **削除**: 連絡先を削除します。
 - **共有**: 連絡先のデータを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。
 - **ショートカットを作成**: ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
 - **着信音を設定**: 着信音を設定します。

電話帳を設定

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶
[ドコモ電話帳]
- 2 [≡] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **ユーザー情報**: ユーザー情報を入力します。
 - **クラウドメニュー**: クラウドとの同期について、操作や設定を行います。
 - **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
 - **海外利用設定**: クラウドとの同期や設定など、通信を伴う機能を海外でも利用するか設定します。
 - **利用状況レポート設定**: ドコモ電話帳の機能向上のために、アプリ利用状況を収集して情報送信するか設定します。
 - クラウドの利用開始と連動して[ON]になります。情報送信しない場合は、[OFF]に設定してください。
 - **アカウント**: アカウントについてはP.178「Googleなどのアカウントの設定」
 - **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
 - **表示する連絡先**: 電話帳に表示する連絡先について設定します。
 - **フリガナ(名前)**: 連絡先を登録する際の、フリガナ欄の表示について設定します。
 - **インポート**: 連絡先データを読み込みます。

- **エクスポート**: 連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。
- **番号指定拒否**: 着信拒否について設定します。着信拒否の詳細についてはP.85「着信拒否設定」

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールやSMS、Gmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/sms/>

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[☐☐☐]▶[メッセージ]

2 [+]

3 宛先、メッセージを入力▶[➡]

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面で[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容を表示します。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

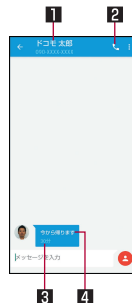
2 宛先／送信元

3 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されます。

4 メッセージ検索

3 メッセージを確認する



1 宛先／送信元

2 電話発信

3 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されます。

4 メッセージ

メッセージの返信

1 ホーム画面で[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力▶[送信]

メッセージの転送

- 1 ホーム画面で[メッセージ] ▶ [メッセージ]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [⇒]
- 4 宛先、メッセージを入力 ▶ [➡]

メッセージの削除

- 1 ホーム画面で[メッセージ] ▶ [メッセージ]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [OK]

スレッドの削除

- 1 ホーム画面で[メッセージ] ▶ [メッセージ]
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
 - 複数のスレッドを削除する場合は、削除するスレッドをタッチしてください。
 - 選択しているスレッドをタッチすると、選択状態は解除されます。
 - 画面上部に表示される選択件数をタッチすると、全選択や全選択解除が行えます。
- 3 [削除] ▶ [削除]

メッセージの設定

- 1 ホーム画面で[メッセージ] ▶ [メッセージ]
- 2 [設定] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **デフォルトのSMSアプリ**: SMSを送受信するアプリを設定します。
 - **古いメッセージを削除**: 保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除するか設定します。
 - **テキストメッセージの制限件数**: スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
 - **受取確認通知**: 送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
 - **SIMカードのメッセージ**: ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

[受取確認通知]について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけでなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

- +メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス(SMS)での送受信をすることができます。
- また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

- +メッセージの詳細については、ホーム画面で[+メッセージ] ▶ [:] ▶ [マイページ] ▶ [ヘルプ] ▶ [使い方ガイド]を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[+メッセージ]

- [人]をタッチすると連絡先一覧画面が、[+]をタッチするとメッセージ一覧画面が表示されます。



1 切替タブ

- タッチすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者([+])のアイコンが表示されている連絡先)のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タッチすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す

- タッチすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先

- お気に入りに入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上位、[公式アカウントを探す]の下に表示されます。

5 +

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

6 連絡先

- タッチすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7

- タッチすることで連絡先を追加できます。

8 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ

- タッチするとメッセージ画面を表示することができます。

10 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角()で表示されます。

11

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

12

- サブメニューを表示します。
 - ・ [すべて既読]: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ [メッセージの並べ替え]: メッセージの並べ替えを行います。
 - ・ [マイページ]: マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。

13

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 ▶▶[新しいメッセージ]/[新しいグループメッセージ]

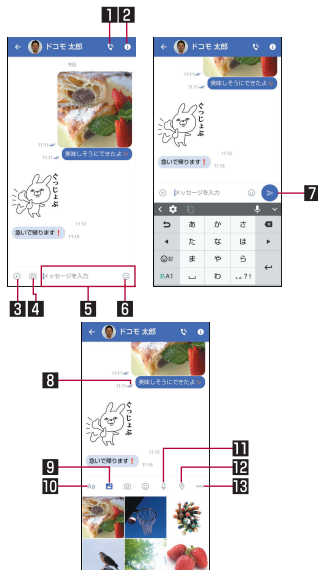
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者(連絡先にマークがついている人)複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選ぶ

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力]をタッチし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK]をタッチしてください。

4 メッセージ入力欄をタッチして文字を入力▶

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



1

- 電話アプリが起動し、発信できます。

2

- サブメニューを表示します。
 - ・ 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

3

- 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - ・ シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

4

- タッチするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

5 **メッセージ入力欄**

- メッセージを入力することができます。

6

- スタンプ選択画面に切り替えます。

7

- 入力したメッセージを送信します。

8 **メッセージ配信状態**

- メッセージの配信状態を表示します。
 - ・ [✓]: 相手がメッセージを閲覧済み
送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
 - ・ [✓]: 相手が端末にメッセージを受信済み
 - ・ アイコン表示なし: サーバにメッセージを送信済み
 - ・ [✗]: メッセージ送信に失敗



- 画像選択画面に切り替えます。



- テキスト入力画面に切り替えます。



- 音声録音画面に切り替えます。



- 地図画面に切り替えます。



- 連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

ショートメッセージサービス(SMS)についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります(初期設定は「オフ」に設定されています)。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意していただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ 読みたいメッセージのスレッドを選ぶ

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P.96)をご参照ください。

メッセージを転送する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ

3 転送するメッセージをロングタッチ ▶ [📧]

4 宛先を選ぶ ▶ メッセージを入力 ▶ [➡️]

メッセージを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ

3 削除するメッセージをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時等、[🗑️]が表示されない場合があります。その場合は、[⋮] ▶ [削除] ▶ [削除]の順に操作ください。

スレッドを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ 削除するスレッドをロングタッチ

3 [🗑️] ▶ [削除]

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [⋮] ▶ [マイページ] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **メッセージ**:メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
- **公式アカウント**:公式アカウントの通知音設定ができます。
- **写真や動画**:送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
- **テーマカラー・背景**:テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
- **通知**:通知に関する設定ができます。
- **プライバシー**:パスコードやブロックなどが設定できます。
- **その他**: [ユーザー情報引き継ぎ] や [+メッセージサービスの初期化] などができます。

公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [👤] ▶ [公式アカウントを探す]

3 公式アカウントストアで利用したいアカウントを選ぶ

4 [利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します]のチェックボックスをタッチ

5 [利用する]

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

メールのアカウントの設定

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面で[] ▶ [メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力 ▶ [▶]

3 パスワードを入力 ▶ [▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する ▶ [▶]

5 アカウントの名前、あなたの名前を入力 ▶ [▶]

メールの送信

1 ホーム画面で[] ▶ [メール]

- 複数のアカウントを設定している場合は、送信アカウントを切り替えられます。アカウントをタッチし、送信アカウントを選択してください。

2 []

3 宛先を入力

- 電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力すると、宛先の候補が表示されます。
- Cc/Bcc入力欄の追加：宛先入力欄の[✓]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付：[] ▶ [ファイルを添付] ▶ 添付するファイルを選ぶ

5 []

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

1 ホーム画面で[] ▶ [メール]

- 未読のメールは、送信元や件名が太字で表示されます。
 - ・ 既読／未読の切替:メールの画像をタッチ▶[]／[]
- フォルダやアカウントの切替:[]▶フォルダやアカウントを選ぶ
- メールを検索:[]▶キーワードを入力▶[Q]
- スターを付ける／外す:[☆]／[★]
 - ・ 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
 - ・ スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

2 メールを選ぶ

- 送信元の画像をタッチすると、電話帳の登録情報が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、電話帳に登録することができます。
- 送信元や宛先、受信日時の詳細を表示／非表示:[詳細を表示]／[詳細を表示しない]
- メールを未読に設定:[]
- [:]をタッチすると、メールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。

メールの返信／転送

1 ホーム画面で[] ▶ [メール]

2 メールを選ぶ

3 []

- 全員に返信:各メールの[:]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[:]▶[転送]

4 メールを作成

- 返信種別の切替:[返信]／[全員に返信]／[転送]▶返信種別を選ぶ
- 返信時に送信元のメールを表示／非表示:[元のメッセージ]
- 送信元のメールを引用:[引用返信]

5 []

メールの削除

- 1 ホーム画面で[] ▶ [メール]
 - メールを選択削除: メール画像をタッチ ▶ [] ▶ [OK]
- 2 メールを選ぶ
- 3 [] ▶ [OK]

メールの設定

- 1 ホーム画面で[] ▶ [メール]
- 2 [] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **全般設定**: メール全般について設定します。
 - **アカウントを追加**: アカウントの追加ができます。
 - **プライバシーポリシー**: プライバシーポリシーを確認できます。
 - アカウントを選ぶと、署名や同期頻度など、各アカウントの詳細について設定できます。

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[≡] ▶ [ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

- 1 ホーム画面で「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Gmail]
- 2 []
- 3 宛先を入力
 - Cc/Bcc入力欄の追加: 宛先入力欄の[▼]をタッチ
- 4 件名、本文を入力
 - ファイルの添付: [] ▶ ファイルの添付方法を選ぶ ▶ 添付するファイルを選ぶ
- 5 []

メールの表示

- 1 ホーム画面で「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Gmail]
- 2 メールを確認する

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中(VoLTE音声通話中を除く)
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール(緊急地震速報)を再度受信することはできません。エリアメール(津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報)は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

- 1 ホーム画面で[] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 メールを選ぶ

■ エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で[] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 メールの[]
- 4 [削除] ▶ [OK]

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[]▶[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 [:]▶[設定]

4 項目を選ぶ

- **エリアメールの許可**: エリアメールを受信するかどうかを設定します。
- **エリアメールの履歴**: 受信したエリアメールの一覧を表示します。
- **バイブレーション**: エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
- **メッセージ受信を再通知する**: 受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。
 - ・再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
 - ・[1回]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。
 - ・[2分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
 - ・[15分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

- **最大音量を使用する**: エリアメール受信時の音量を設定します。
 - ・ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
 - ・OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
- **受信画面および着信音確認**: 緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
- **やさしい日本語表示**: 緊急地震速報、津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
- **翻訳・アプリ連携設定**: 受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面で[🌐]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。
- ページの再読み込み: Chrome画面で[:]▶[🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[:]▶[新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で[②]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[②]▶[✕]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

■ シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[:]▶[新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[実行]

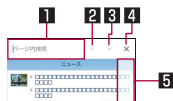
- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で[①]▶[✕]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.107「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chrome にログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **同期と Google サービス**: 同期設定やGoogleサービスを設定します。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワード**: パスワードの保存について設定します。
- **お支払い方法**: フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**: フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。
- **ホームページ**: ホームページを設定します。
- **テーマ**: Chromeのテーマを設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。

- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**: サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ライトモード**: データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **ダウンロード**: ファイルやおすすめの記事のダウンロードについて設定します。
- **Chrome について**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[:]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠(ExifVer.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

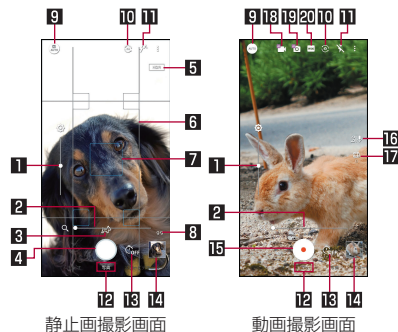
設定できる撮影サイズは次のとおりです。

静止画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウト カメラ	イン カメラ
18:9	15M(5480×2740)	○	×
	11M(4656×2328)	×	○
	7.3M(3840×1920)	○	○
16:9	17M(5480×3084)	○	×
	12M(4656×2620)	×	○
	4K2K(3840×2160)	○	○
4:3	23M(5480×4112)	○	×
	16M(4656×3492)	×	○
	10M(3648×2736)	○	×
	8M(3264×2448)	×	○
1:1	12M(3492×3492)	×	○
	7.5M(2736×2736)	○	×

画面比率	撮影サイズ	アウト カメラ	イン カメラ
18:9	7.5M(3840×1920)	○	○
	1.9M(1920×960)	○	○
16:9	4K2K(3840×2160)	○	○
	FULL HD(1920×1080)	○	○
	FULL HD(1920×1080) 60fps	○	×
	HD(1280×720)	○	○
	HD(1280×720)60fps	○	×
4:3	1.6M(1440×1080)	○	○
1:1	1.2M(1080×1080)	○	○

撮影画面の見かた

**1 明るさ調整**

- 明るさを調整します。上下にスライドで表示／設定できます。

2 ズーム

- 被写体を拡大／縮小します。ピンチアウト／ピンチインで表示／設定できます。

3 認識アイコン

- 撮影メニューを[AIオート]に設定している場合は、次のシーンや被写体をAIが認識するとアイコンを表示します。
 - ・ 人物: [人]
 - ・ 犬: [犬]
 - ・ 猫: [猫]
 - ・ 料理: [料理]

- 花: [🌸]
- 夕景: [🌇]
- 花火: [🎆]
- 白板／黒板: [📌]

- 認識したシーンや被写体によって最適な画質やシャッタースピードで撮影します。白板／黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、[補正する]をタッチすると正面から見たような写真へ補正します。

4 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

5 HDR

- [オートHDR]をONに設定しているときにHDR機能が動作中に表示されます。

6 ガイド線

- 設定したガイド線が表示されます。

7 フォーカスマーク

- 撮影メニューやフォーカス設定によっては、顔や全身を検出してフォーカスマークを表示します。

8 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

9 撮影メニュー

10 イン／アウトカメラ切替

11 モバイルライト

- 静止画撮影時にはフラッシュ(撮影の瞬間に点灯)に設定することもできます。

12 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。

13 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定していると表示されます(📖 P.117「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタッチするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

14 アルバム／直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「アルバム」のショートカットを表示します。AIライブストーリーで撮影された動画には[📺]が重なって表示されます。

15 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

16 風切り音低減

- 風切り音を低減するか設定します。右端を左にスライドすると表示されます。

17 レンズ補正

- 動画専用アウトカメラ利用時に右端を左にスライドすると表示されます。
- タッチすると、調整バーが表示され、レンズの歪みを調整できます。

18 AIライブストーリー

- 画角切替を[wide]に設定して撮影した長時間の動画から、カット数や変化量を増やし、エフェクトやテーマ曲を付けたショートムービーをAIが自動作成します。
- 有効にしている場合、撮影した動画とは別にショートムービーが保存されます。保存されたショートムービーは「アルバム」アプリで確認することができます(📖 P.120「ショートムービーの再生」)。

19 AIライブシャッター

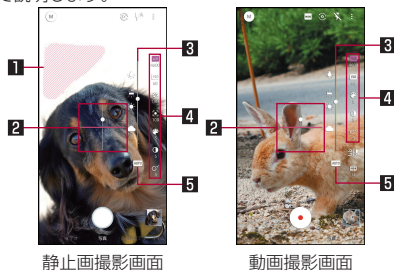
- 画角切替を[**WIDE**]に設定して動画を撮影しているとき、AIが自動で静止画を撮影します。
- 有効にすると、動画撮影中にAIが笑顔や犬または猫の顔、構図などを判断して、自動で静止画を撮影します。

20 画角切替

- 撮影時の画角を切り替えます。
 - [**WIDE**]に切り替えると動画専用アウトカメラに設定します。また、動画撮影中に標準アウトカメラで静止画を撮影できます。
 - [**STD**]に切り替えると標準アウトカメラに設定します。
- 撮影モードや撮影メニューによっては、画面上部や右端に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると設定を変更できます。

■ 撮影画面(マニュアル)

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



1 白とび／黒つぶれ表示

- 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します。

2 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

3 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

4 設定アイコン表示エリア

- 右端を左にスライドすると、設定アイコンが表示されます。
- 設定アイコンをタッチすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。

- 表示されるアイコンで次の設定ができます。

- ・ ホワイトバランス: [WB]
- ・ ISO感度: [ISO]
- ・ シャッター速度: [1/500]
- ・ フォーカス: [AF-ON]
- ・ 彩度: [v]
- ・ コントラスト: [C]
- ・ 明瞭度: [O]

5 自動調整

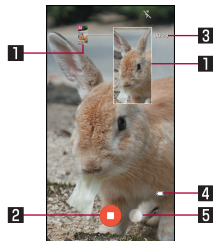
- タッチすると、自動調整に切り替わります。

ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ 動画撮影中画面

動画専用アウトカメラで撮影中の画面を例に説明します。



動画撮影中画面
(AIライブシャッターを有効)

1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。
- AIライブシャッターが自動で撮影した場合は、[AI]と表示されます。

2 動画撮影停止

3 撮影時間

4 電池残量

5 静止画撮影

- 画角切替を [wide] に設定している場合に表示されます。タッチすると標準アウトカメラで静止画を撮影します。

■ 撮影モードの切替

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- **ビデオ**: 通常の動画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
- **写真**: 静止画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
- **スロービデオ**: スロービデオを撮影します。撮影した動画は、アルバムで確認することができます (P.119「静止画を含む動画の再生」)。
- **タイムラプス**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。

■ 撮影メニューの切替

撮影モードが[写真]／[ビデオ]の場合は撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]／[ビデオ]に切り替える

3 撮影メニューアイコンをタッチ

4 項目を選ぶ

- **AIオート**: AIが被写体に合わせて撮影設定を調整します。
- **オート**: 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- **マニュアル**: 設定アイコンで各種設定をマニュアルで調整するモードです。
- **背景ぼかし**: 近くの被写体にピントを合わせ、背景をぼかした写真を撮影します。
- **くっきり**: くっきりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **ふんわり**: ふんわりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **逆光**: 逆光など明暗差がある写真を撮りたいときにホワイトバランスとコントラストを調整して撮影します。
- **残像**: 明かりがつかなくて残像のように見える写真を撮影します。
- **接写**: 被写体に近づいてインパクトのある写真を撮影します。
- **モノクロ**: モノクロ撮影するモードです。

静止画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 本端末のアウトカメラ(標準アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(30段階)です。
- フォーカスロック: 被写体をタッチ
 - ・ フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
 - ・ フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせた箇所まで[AE]をドラッグします。

4 [○]/[+]/[-]

- [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [○]をロングタッチ、または[+] / [-]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。
- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 [WIDE] / [STD]

- 撮影に使用するカメラを切り替え、画角を選択できます。

4 本端末のアウトカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(30段階)です。

5 [●]

- 動画専用アウトカメラで動画撮影中(画角切替を[WIDE]に設定中)は、次の操作や機能を利用できます。
 - ・ AIライブシャッターを有効にして動画撮影した場合は、自動で静止画を撮影します(※P.110「撮影画面の見かた」)。
 - ・ [○]をタッチ、または[+] / [-]を押すと、静止画撮影できます。
- 標準アウトカメラで利用時(画角切替を[STD]に設定中)は、次の操作や機能を利用できます。
 - ・ フォーカスロック(操作方法は静止画撮影時と同様です。)

6 [●]

- 動画撮影中に静止画を撮影した動画の再生について詳しくは、「静止画を含む動画の再生」(P.119)をご参照ください。
- 動画専用アウトカメラは、無限遠を含む広い範囲でフォーカスが合うように設計されています。近距離での動画撮影はピントが合いにくくなります。近距離で動画撮影するときは、[STO]に切り替えて標準アウトカメラに設定してください。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 [⋮]

4 [写真]

5 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **ガイド線**: 撮影画面にガイドを表示できます。
- **インテリジェントフレーミング**: 静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行います。
 - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
 - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画の表示」(P.119)をご参照ください。
- **マルチオートフォーカス表示**: マルチオートフォーカスを表示するか設定します。
- **オートHDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とび／黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- **ワンタッチシャッター**: 画面をタッチして撮影するか設定します。
- **QRコード・バーコード認識**: QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。
- **光学式手ブレ補正**: 手ぶれを補正するか設定します。
- **インカメラ小顔補正**: インカメラ利用時に小顔調整を行う効果レベルを設定します。
- **インカメラ美肌調整**: インカメラ利用時に美肌調整を行う効果レベルを設定します。
- **インカメラレンズ補正**: インカメラ利用時に歪みを抑える画像処理を行うか設定します。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 []

4 [動画]

5 項目を選ぶ

- **動画サイズ**: 動画の撮影サイズを切り替えます。
- **カメラ切替**: 撮影に使用するカメラを切り替え、画角を選択できます。
- **画質とデータ量**: 動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- **手ブレ補正**: 手ぶれを補正するか設定します。
- **マイク設定**: 音声を録音するか設定します。
- **風切り音低減**: 風切り音を低減するか設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 []

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **全画面表示**: 撮影画面に画面上部の拡張領域を使用するか設定します。
- **白とび／黒つぶれ表示**: 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- **水準器**: 水準器を表示するか設定します。
- **ホワイトバランス**: 撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
- **フォーカス設定**: 被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - ・ [顔優先AF]を設定している場合は、人の顔を検出します。
- **セルフタイマー表示**: セルフタイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
- **ちらつき防止**: 蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- **保存先設定**: 保存先を設定します。
- **位置情報付加**: 位置情報を付加するか設定します。
- **ヘルプ**: 撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- **PHOTOSHOW(Webページ)**: シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
- **設定リセット**: 設定をリセットします。

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面で[アルバム]

2 [≡]▶カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ

- データの削除: データをロングタッチ▶[🗑️]▶[はい]

4 データを確認する

- Dolby Vision™に対応した動画を再生すると、ステータスパネルの通知詳細情報に表示モードの設定が表示されます。お好みの表示モードを選択ください。
- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをUSBケーブルで接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの/PRIVATE/SHARP/PM/DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■ イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で[≡]▶[イベント]

2 [未設定]

3 [✎]▶[イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ▶[作成]

5 [イベント名を入力する]▶イベント名を入力▶[OK]

■ 場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で[≡]▶[場所]

2 [⋮]▶[場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ▶登録する位置までドラッグ▶[OK]

データの表示／非表示

すべての画像や動画を表示する表示モードと、あらかじめ設定した画像や動画を非表示にする非表示モードを利用できます。

■ データの表示／非表示を設定

非表示モードでデータを非表示にするか設定します。

- 非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

1 アルバム画面でデータを選ぶ

2 [☺]／[☹]

- [☺]が表示、[☹]が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも[☹]が表示されます。
- 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

■ 表示モードの切替

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 アルバム画面で[⋮]▶[画像の表示／非表示]

2 [非表示モードへ切替]／[表示モードへ切替]

構図補正した静止画の表示

「カメラ」アプリで撮影した静止画が[インテリジェントフレーミング]により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには[📐]が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 アルバム画面で静止画を選ぶ

- [📐]をタッチすると、静止画の切替画面が表示されます。確認したい静止画をサムネイルで選択できます。
 - 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
 - アルバム画面のサムネイルには、[★]のある静止画が表示されます。[☆]をタッチして切り替えることができます。
- 本端末の電源を入れた直後に「アルバム」アプリを起動した場合など、[📐]が表示されない場合があります。しばらくしてから「アルバム」アプリを起動し直してください。

静止画を含む動画の再生

撮影中に静止画を撮影した動画や、AIライブシャッターで静止画を自動撮影した動画のサムネイルには[🎞️]が表示されます。

また、動画撮影中に撮影された静止画の1件表示画面にも[🎞️]が表示されます。

- 動画再生時に静止画を表示したり、静止画の管理などを行うことができます。

1 アルバム画面で静止画を含む動画を選ぶ▶[▶]

- 動画撮影中に撮影された静止画を選ぶ▶[▶]と操作しても再生できます。
- [写真も再生]を有効にすると、動画再生時に撮影した静止画を表示します。
- [この動画の写真を見る]をタッチ、または動画再生中に画面を上にはスワイプすると、静止画の確認や削除などができます。

ショートムービーの再生

AIライブストーリーによって作成された15秒程度のショートムービーを再生します。

- ショートムービーのサムネイルには[🎞️]が表示されます。
- ショートムービーは「パターン」を切り替えて再生することができます。

1 アルバム画面でショートムービーを選ぶ

2 [次のパターン]

- ショートムービーが[Fun]で再生されます。
- 再生中の動画をタッチすると3種類のパターンが画面下部に表示されます。パターンをタッチするとタッチしたパターンで動画を再生します。
また、[保存]や[🔍]などタッチすると、再生中の動画の共有などをすることができます。

スロービデオ動画の再生

スロービデオで撮影した動画を、なめらかに再生したりスローで再生することができます。スロービデオで撮影した動画のサムネイルには[📶]が表示されます。

■ スロービデオ動画のなめらか再生

- スロービデオで撮影した動画は、本端末にあらかじめインストールされているプレーヤーで再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどでは、正しく再生できない場合があります。
- あらかじめ[なめらかハイスピード表示]で利用するアプリの設定をONにしておいてください(🔍P.161「ディスプレイ」)。

1 アルバム画面で動画を選ぶ

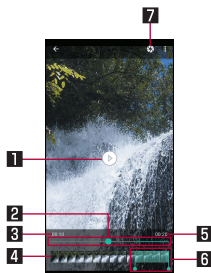
2 [▶]

- アプリ選択画面が表示された場合は、本端末にあらかじめインストールされているプレーヤーの中から、利用するアプリを選択してください。

■ スロービデオ動画のスロー再生

1 アルバム画面で動画を選ぶ

2 [SLOW]



1 再生／一時停止

2 シークバー

- スロー再生範囲は緑色で表示されます。スロー再生範囲の追加／変更で緑色の範囲を変えることができます。

3 再生時間

4 サムネイル

5 総再生時間

6 スロー再生範囲

- 一時停止中に表示されます。
 - サムネイルをタッチするとスロー再生範囲を追加できます。
 - []をドラッグするとスロー再生する範囲を変更できます。

7 静止画キャプチャー

- タッチすると表示中の映像を静止画として保存します。

エクスポート

スロー再生範囲がスローになる動画として保存します。保存した動画は、他のプレーヤーで再生できます。

1 スロー再生画面で[]▶[エクスポート]

2 項目を選ぶ

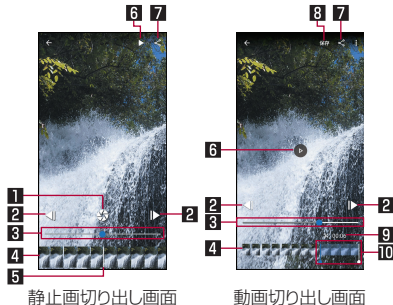
- **動画全体をエクスポート**: 動画全体をエクスポートします。
- **スロー範囲をエクスポート**: スロー再生範囲をエクスポートします。
 - スロー再生範囲が複数ある場合、最初のスロー再生範囲から最後のスロー再生範囲までが、通常の再生部分も含めてエクスポートされます。

あとからキャプチャー

動画の中から静止画や動画を切り出して保存することができます。

1 アルバム画面で動画を選ぶ

2 [🔍] ▶ [静止画切り出し] / [動画切り出し]



1 静止画切り出し

- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し / コマ送り

- 1コマ前 / 先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。

4 サムネイル

5 表示位置

- 現在表示しているフレームの位置を表します。
- サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。

6 再生 / 一時停止

7 共有

- タッチすると静止画 / 動画の切り出しが行われ、保存された静止画 / 動画を他のアプリで利用することができます。

8 動画切り出し

- 選択している範囲を別の動画として保存します。

9 再生時間

- 切り出す動画の再生時間を表示します。

10 動画切り出し範囲

- [🔍] をドラッグして切り出す範囲を設定します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE/3G/GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください(☞P.178「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面で[Play ストア]

- ヘルプの表示:[≡]▶[ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[≡] ▶ [ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で[≡] ▶ [マイアプリ&ゲーム]

2 [インストール済み]

3 アンインストールするアプリを選ぶ

4 [アンインストール] ▶ [OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のＩＣカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ＩＣカード内データ※¹、ドコモnanoUIMカード内データ※²が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データ、ドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※¹ おサイフケータイ対応端末に搭載されたＩＣカードに保存されたデータ

※² ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが必要なものもあります。

1 ホーム画面で[]▶[おサイフケータイ]

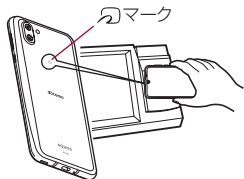
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末のマークを読み取り機にかざす



- 機内モード中は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてお支払いは利用できます。
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー(※P.152「ネットワークとインターネット」)の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能をご利用できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - ㊟マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - ㊟マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - ㊟マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。
- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ ロック]
 - ホーム画面で[] ▶ [おサイフケータイ] ▶ [] でも NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。
 - 2 画面の指示に従って、NFC／おサイフケータイ ロックNo.を入力 ▶ [OK]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに [] または [] が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロックNo.は、本端末を初期化しても削除されません。
- NFC／おサイフケータイ ロック解除時には、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際の端末に挿入されていたドコモnanoUIMカードを挿入した状態で解除を行ってください。

NFC／おサイフケータイ 設定

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定]

2 項目を選ぶ

- **NFC／おサイフケータイ ロック**: NFC／おサイフケータイ ロックについてはP.127「NFC／おサイフケータイ ロック」
- **Reader／Writer, P2P**: Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- **タップ&ペイ**: おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるアプリについて設定します。
- **ロックNo.変更**: NFC／おサイフケータイ ロックのロック No.を変更します。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メールやウェブダウンロードで取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[] ▶ [トルカ]

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用にならない場合があります。
 - 更新
 - トルカの共有
 - 地図表示
- データサーバー(P.152「ネットワークとインターネット」)の設定にかかわらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのポケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ(<https://id-credit.com/index.html>)をご覧ください。

テレビ(フルセグ／ワンセグ)

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会：<https://www.apab.or.jp/>

■ フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、ポケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

フルセグの注意事項

- 本端末は地上デジタルテレビジョン放送のコンテンツ権利保護のための仕組みとして、「コンテンツ権利保護専用方式」(ソフトウェア方式)を採用しています。そのため、B-CASカードなどは不要です。
- 本端末で録画したフルセグ番組は、他の端末に持ち出して再生することができません。
- 「コンテンツ権利保護専用方式」(ソフトウェア方式)に関するお問い合わせは、一般社団法人地上放送RMP管理センターにご確認ください。
ホームページ: <http://www.trmp.or.jp/>
メールアドレス: info-trmp@trmp.or.jp

フルセグデータ放送ご利用時の注意事項

- データ放送の双方向通信などで本端末に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 同一番組のデータ放送であっても、視聴エリアを移動した場合、データ放送の蓄積データが引き継がれない場合があります。
- フルセグデータ放送はリモコン、またはジェスチャー操作でのみ操作できます。

■ 放送波について

フルセグ/ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外/圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

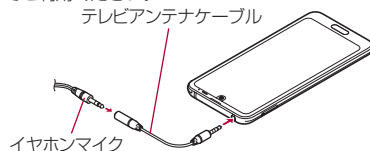
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■ テレビアンテナケーブルについて

テレビを利用(視聴/録画)する場合は、付属のテレビアンテナケーブル SH01を端末のイヤホンマイク端子に接続してください。

イヤホンマイクを利用するとき

テレビアンテナケーブルを使用中にイヤホンマイクをご利用になる場合は、端末と市販のイヤホンマイクをテレビアンテナケーブルで接続してご利用ください。



■ 受信状態をよくするには

テレビアンテナケーブルの向きを変えたり、人体から離したり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

チャンネルリスト作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でテレビアンテナケーブルを接続してから行ってください。

1 ホーム画面で[] ▶ [テレビ]

- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき：テレビ視聴画面で[] ▶ [チャンネル設定] ▶ [チャンネルリスト編集] ▶ [作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成**：地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成**：現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [完了]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためテレビを利用できません。

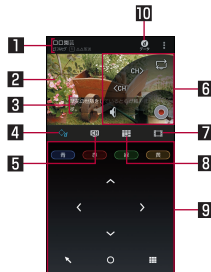
テレビ視聴

テレビを視聴します。

1 ホーム画面で[] ▶ [テレビ]

2 テレビを視聴する

- 音量調節：[](+) / [](-)



テレビ視聴画面(フルセグ縦表示)



テレビ視聴画面(フルセグ横表示)

1 番組情報

- 番組名やフルセグ／ワンセグの視聴状況、放送局名が表示されます。

2 映像

- タッチするとコントローラーなどの表示／非表示を切り替えます。
- 左右にフリックするとUP／DOWN選局ができます。

3 字幕

4 リモコン

- リモコンを表示します。
- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ 項目を選択: [青]／[赤]／[緑]／[黄]
 - ・ 前のページへ戻る: [◀]
 - ・ カーソルを合わせている項目を選択: [○]
 - ・ テンキーを使用: [1234567890*#]

5 チャンネル切替キー

- チャンネル切替画面を表示します。

6 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ ワンセグ／フルセグ切替: [ワンセグ／フルセグ]
 - ・ UP／DOWN選局: [CH<]／[>CH] ※1
 - ・ ミュート／ミュート解除: [MUTE]／[MUTE OFF] ※2
 - ・ 録画開始／停止: [録画開始]／[録画停止]
- ※1 ロングタッチするとサーチ選局になります。
※2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。

7 録画ファイル一覧キー

- 録画ファイル一覧を表示します。

8 番組一覧キー

- 視聴放送局の番組一覧を表示します。
 - ・ 番組をタッチすると番組詳細画面が表示されます。番組詳細画面から、視聴／録画予約することもできます。

9 情報表示エリア

10 データ放送キー

- データ放送を表示します。

- テレビ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- テレビ起動中にホーム画面を表示してもテレビは起動状態となるため、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。

録画

テレビを録画し、本体メモリまたはmicroSDカードに保存することができます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。
- フルセグは保存先を設定することができます(※P.135「テレビの設定」)。ワンセグは本体メモリにのみ保存することができます。

ビデオの保存件数と録画時間の目安

視聴サービス	保存件数	録画時間
フルセグ	最大99件※1	1Gバイトあたり:約8分 1件あたり:最長約410分(本体保存時)／最長約1440分(microSDカード保存時)
ワンセグ	最大99件	1Gバイトあたり:約300分 1件あたり:最長約600分※2

※1 本体メモリとmicroSDカードそれぞれの件数です。

※2 1件あたりの録画サイズは最大約2Gバイトです。

- 本体メモリまたはmicroSDカードに空き容量があっても、最長録画時間になると、それまで録画したビデオを保存して録画を終了します。
- 本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 テレビ視聴画面で[●]

2 録画時間を選ぶ

- 設定した録画時間が経過すると、録画を終了し自動的に映像が保存されます。
- 録画の終了:[●]▶[OK]
 - ・自動的に映像が保存されます。

- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。
- テレビ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのテレビ録画は終了し、映像が保存されます。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

録画再生

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたビデオを再生します。

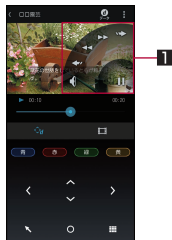
- ビデオ再生画面の操作は、テレビ視聴画面の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を説明します。

1 テレビ視聴画面で[📺]

2 ビデオを選ぶ

- 録画したビデオの削除:ビデオをロングタッチ▶[🗑️]▶[OK]
- 録画番組の操作についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 ビデオを視聴する



1 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・一時停止／再生: [⏸] / [▶]
 - ・早戻し／早送り: [⏮] / [⏭] ※1
 - ・約5秒前の位置にバック／約15秒先の位置にスキップ: [⏪] / [⏩]
 - ・ミュート／ミュート解除: [🔊] / [🔇] ※2
 - ・先頭から再生: [⏮] ※3
- ※1 タッチするたびに、再生速度が切り替わります。
※2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。
※3 再生完了時に表示されます。

- ビデオ再生時は録画されたデータ放送も表示することができます。
フルセグの場合は、録画設定の[フルセグデータ放送の録画]でデータ放送を録画するか設定できます。

テレビリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴画面で[📺] ▶ [TVリンク]

- 登録したテレビリンクを表示します。

2 テレビリンクを選ぶ

■ テレビリンクの削除

1 テレビ視聴画面で[📺] ▶ [TVリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ ▶ [🗑] ▶ [OK]

視聴／録画予約

テレビの視聴や録画を予約できます。また、予約の状態や結果などを確認できます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。
- 視聴予約・録画予約合わせて30件まで登録できます。
- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

1 テレビ視聴画面で[📺] ▶ [予約一覧]

- 予約の削除: 予約をロングタッチ ▶ [🗑] ▶ [OK]
- 予約結果一覧の表示: [視聴／録画予約] ▶ [録画予約結果]

2 [予約] ▶ [手動で予約]

- 番組表から予約: [予約] ▶ [Gガイドから予約] ▶ 予約する

3 各項目を設定



1 予約の種類

- 予約の種類を切り替えます。

2 タイトル

- タイトルを入力します。

3 放送局名

- 放送局を設定します。

4 開始日

- 開始日を設定します。

5 開始時刻

- 開始時刻を設定します。

6 くりかえし

- 予約の繰り返しについて設定します。

7 終了時刻

- 終了時刻を設定します。

4 [完了]

- 端末の使用状況や本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量、番組の種類などにより、視聴・録画ができなかったり、途中で録画を終了したりする場合があります。

テレビの設定

データ放送やテレビの自動終了時間などについて設定できます。

1 テレビ視聴画面で[] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **コントローラー表示位置**: コントローラーを左右どちらに表示するか設定します。
- **ワンセグ／フルセグ受信設定**: ワンセグ／フルセグの受信方法を設定します。
- **文字スーパー設定**: 文字スーパーについて設定します。
- **データ放送設定**: データ放送について設定します。
- **アラーム設定**: 予約番組の開始時のアラームについて設定します。
- **オフタイマー設定**: テレビを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- **録画設定**: フルセグ録画時の保存先や、フルセグ録画時にデータ放送も合わせて録画するかを設定します。
- **CAS情報の初期化**: フルセグの受信で記録された情報を初期化します。
- **製品情報**: アプリのバージョンやプライバシーポリシーを確認できます。

[データ放送設定]について

- [通信接続時の確認]を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[オフタイマー設定]について

- テレビ録画中に設定した時刻になると、録画終了の確認画面が表示されます。

■ 映像／音声／字幕の設定

テレビ視聴中に字幕を表示させたり、音声言語を変更したりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 テレビ視聴画面で[映像] ▶ [映像／音声／字幕設定]

2 項目を選ぶ

- **映像切替**: 映像を切り替えます。
- **音声切替**: 音声言語を設定します。
- **音声多重切替**: 主音声・副音声について設定します。
- **字幕切替**: 表示する字幕について設定します。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(※P.170「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(※P.170「位置情報」)。

1 ホーム画面で「Google」フォルダを選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

- 地図を回転: 1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示: 2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位: [📍]

■ ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更: 画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動: 画面を2回タッチ、青線をスライド
- コンパスモード: [🧭]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の向きとストリートビューで表示される方向が連動します。

■ ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[経路]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 周辺の場所検索

表示中の地図周辺の場所を検索することができます。

- 1 マップ画面で検索ボックスをタッチ
- 2 検索したい場所を入力▶検索結果を選ぶ
 - 場所を入力すると、入力した場所を検索し、一覧表示します。
- 3 検索結果を利用する

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- 1 ホーム画面で「Google」フォルダを選ぶ▶
[YouTube]
- 2 動画を選ぶ
 - 検索ボックスの表示:[Q]

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 ホーム画面で[時計]▶[時計]▶[アラーム]
- 2 登録先の時刻をタッチ
 - 登録先の追加:[+]
- 3 時刻を選ぶ▶[OK]
- 4 各項目を設定



- 1 繰り返し
 - 繰り返しを設定します。
- 2 アラーム音
 - アラーム音を設定します。
- 3 ラベル
 - ラベルを入力します。

4 削除

- アラームを削除します。

5 アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

6 バイブレーション

- バイブレータを利用するか設定します。

7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[🔊]を[🔇]までスライド

- スヌーズの利用: [🔊]を[🔇]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用: [スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔊]▶[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で[🌐]▶[時計]▶[時計]

2 [📍]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面で[🌐]▶[時計]▶[タイマー]

2 時間を入力▶[▶]

- 時間を1分追加: [+1:00]
- カウントダウンの停止: [⏸]
- カウントダウンのリセット: [リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止: [🔇]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[停止]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラームでお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[タイマーを追加]

- タイマーの切替: 上下にスライド

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面で[]▶[時計]▶[ストップウォッチ]

2 [●]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ラップ]

3 [⏸]

- 計測結果の共有:[共有]
- 計測結果のリセット:[リセット]

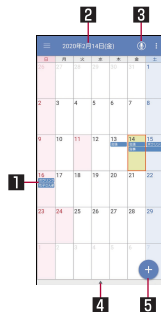
- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ▶[スケジュール]

2 スケジュールを確認する



1 登録されているスケジュール

2 選択している日付、祝日名

3 音声入力

- 音声入力でmy daizを利用できます。

4 セバレータ

- タッチすると選択している日付のスケジュールを表示します。また、ToDoを設定したスケジュールやメモがある場合、未完了のToDoも表示されます。

5 新規作成

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で[≡] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **アラーム**: アラームについて設定します。
- **起動画面**: スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- **開始曜日**: カレンダーの開始曜日を設定します。
- **誕生日表示設定**: 電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するかや表示する場合の色を設定します。
- **週間天気表示設定**: 一週間の天気をスケジュールに表示するか設定します。
- **クラウド設定**: クラウドを利用するか設定します。
- **海外利用設定**: 本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するか設定します。
- **アプリ内データ全件削除**: 「スケジュール」アプリ／「メモ」アプリのデータをすべて削除します。[削除実行]をタッチして削除する前に表示される内容をご確認ください。

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で[+]

2 各項目を設定



1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 ラベル

- ラベルのアイコンや色を変更します。

3 タイトル

4 本文

5 詳細編集

- 日時や場所を設定します。[入力オプションを表示]をタッチすると、繰り返しやアラームなどの入力項目が追加されます。

6 文字色

- タイトルの文字色を変更します。

7 シール

- スケジュールを楽しくデコレートするようなシール(デコメ絵文字®/絵文字)を貼り付けたり、はがしたりできます。

3 [保存]

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日を選ぶ

2 スケジュールをロングタッチ



3 [1件削除] ▶ [削除する]

メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」フォルダを選ぶ ▶ [メモ]

2 [⊕]

3 メモを入力 ▶ [保存]

- メモの作成方法は、スケジュールの作成方法と基本的な部分と同様です。スケジュールについてはP.140「スケジュール」

電卓

1 ホーム画面で[電卓] ▶ [電卓]

2 計算する

- 関数電卓の表示: 操作キーの右端を左にスライド
- 計算結果のコピー: 計算結果をロングタッチ ▶ [コピー]
- ヘルプの表示: [:] ▶ [ヘルプ]
- 計算履歴の表示: 計算結果の表示部を下にスライド
 - ・ 履歴の削除: [:] ▶ [削除] ▶ [削除]

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本端末の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。

また、お客様の声※をエモパーが認識して応答することがあります。

さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。

※ [声でアクション] を有効にすると、エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を確認します(音声で認識される時間は最大6秒間です)。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。

- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。[位置情報]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません
(P.170「位置情報」)。

1 ホーム画面で[エモパー]

- ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [エモパー]でもエモパーを表示することができます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[] ▶ [あなたについて]で職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話しする機会や内容のバリエーションが増えることがあります。
- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録(約1週間分)が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[]

- [] / [] をタッチしてエモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- **COCORO ID**: アカウントを設定します。新規登録・ログインすると自動バックアップなど、より便利にご使用いただけます。
- **エモパー選択**: エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。

- **基本動作について**: エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- **あなたについて**: ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- **エモパーの話題**: エモパーがお伝えする情報を設定します。
- **声でエモパーを呼び出し**: 端末に「ハロー、エモパー」と話しかけることでエモパーを呼び出すか設定します。
 - ・ エモパーがお話しできる場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に反応します。
- **エモパーメモ**: エモパーメモの利用について設定します。
- **声でアクション**: エモパーが話してから画面が消灯するまでの間に話しかけると、エモパーが反応するようにするか設定します。また、話しかけかたの例を確認できます。
- **エモパーヘルスケア**: エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- **AIoT機器との連携**: エモパー連携に対応したシャープの家電(AIoT機器)との連携について設定します。
- **エモパーへの話しかけ方**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」・「エモパーへの話しかけ方」に接続します。
- **おすすめ機能の紹介**: おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
- **エモパー使い方ガイド**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- **よくある質問(FAQ)**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
- **エモパーの記憶**: エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。

- **注意事項:** エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話できる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- 外出中では、職場や学校の出入りなど特定のタイミングでバイブレータが振動する場合があります。その際には、通話するように端末を耳に当ててお話します。また、イヤホンを接続中は、バイブレータが振動せずにイヤホンからお話します。
- ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、COCORO MEMBERSなどでバックアップすることで、機種変更の際に引き継ぐことができます。

- COCORO MEMBERSにバックアップする場合はエモパー画面で[] ▶ [COCORO ID]からアカウントを登録し、[エモパーの記憶] ▶ [自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- Googleドライブにバックアップする場合は端末に設定されたGoogleアカウントと同じアカウントをエモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [Googleドライブでバックアップする]の[]から設定し、[Googleドライブでバックアップする]を実行してください。
- microSDカードにバックアップする場合は端末にmicroSDカードが取り付けられていることを確認の上、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [SDカードでバックアップする]を実行してください。

- 機種変更後のエモパーの初期設定画面で[引き継ぎはコチラ]を選択し、バックアップした方法と同じ方法を選択することで、機種変更前のエモパーを復元することができます。また、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [記憶を復元する] ▶ [復元する]を実行しても復元することができます。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定したり、エモパーに質問することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
 - ・ エモパーメモの[画面消灯時でもメモを起動]を有効にすると、消灯中の画面を2回タッチしてもエモパーメモを利用できます。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動して」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。
- エモパーに質問する際は、「明日の天気を教えて」のように話しかけてください。質問の情報をエモパーがお伝えします。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気かけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
 - ・ エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、[エモパーヘルスケア] ▶ [タニタ体組成計との連携] から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
 - ・ エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります(※P.146「からだメイト」)。
- エモパーが話しているときに[+] / [-] を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下向きにして端末を置いていないと、エモパーは話しません。
- スグ電設定で[発信]を設定している場合、端末を振るとスグ電が動作し、エモパーは話しません。

- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

電車の遅延情報について

- エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
- 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

AIoT機器との連携について

- AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じアカウントに対して機器の登録が必要です。
- エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCORO サービスに対応した特定の機種に限ります。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)などでご確認ください。

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面で[] ▶ [からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定 ▶ [歩数計ON] ▶ [◀]

- 初期状態では、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
 - ・ ユーザー情報の変更についてはP.148「ユーザー情報の変更」
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

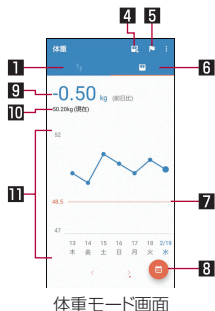
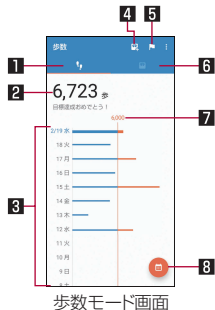
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - ・ 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・ 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - ・ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・ 立ったり座ったりしたとき
 - ・ スポーツを行ったとき
 - ・ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - ・ 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れをしているとき
 - ・ スピーカーから音が出ているとき
 - ・ バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- キャリングケース 02(別売)に入れるときは、キャリングケース 02を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについてはP.142「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - ・ からだメイト画面で[目標設定]▶[目標設定]でも目標を設定できます。
- 設定した目標の削除:目標の入力画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別／月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動:[<]／[>]

■ ユーザー情報の変更

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトの停止

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ データリセット

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [データリセット] ▶
[はい]

■ 用語説明の確認

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [用語の説明]

2 用語を選ぶ

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で[⋮] ▶ [データコピー]

2 [データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 対応機種や詳しい使いかたは、ドコモのホームページをご覧ください。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、復元先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末やmicroSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック設定中や長エネスイッチの動作中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

■ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [バックアップ]
- 4 バックアップするデータを選ぶ ▶ [バックアップ開始] ▶ [開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 5 [トップに戻る]

■ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [復元]
- 4 復元するデータ種別の[選択]
- 5 復元するデータを選ぶ ▶ [選択]
- 6 復元方法を選ぶ ▶ [復元開始] ▶ [開始する]
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。

7 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、[定期バックアップをONにする]と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[] ▶ [データコピー]

2 [バックアップ&復元]

3 [電話帳アカウントコピー]

4 コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

5 [OK]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で[] ▶ [設定] で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示中に[] ▶ 検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定] をタッチするとメニューが表示されます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

電話番号	ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
電池	電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
AQUOS便利機能	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

ホーム切替	利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
セキュリティ	セキュリティロックなどについて設定します。
ドコモのサービス/クラウド	ドコモサービスの設定を行います。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Digital Wellbeingと保護	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
デバイス情報	デバイス情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-FiについてはP.152「Wi-Fi」
- **モバイル ネットワーク**: モバイル ネットワークについてはP.154「モバイル ネットワーク」
- **テザリング**: テザリングについてはP.156「テザリング」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **データセーバー**: 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - ・データセーバー中でもデータ通信を制限しないアプリについては、[無制限のデータアクセス]から設定することができます。
- **VPN**: VPNについてはP.198「VPNの追加」
- **プライベート DNS**: プライベート DNSの設定をします。

[機内モード]について

- [SIMカードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。
- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。

- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で[]
▶[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]▶[dアカウント設定]から設定することができます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi の使用]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
 - ・ 接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、[]をタッチし、QRコードを読み取って接続できます。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのあるアクセスポイントを表示します。
- [Wi-Fi データ使用量]をタッチすると、Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてEnhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2/WPA3-Enterpriseに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[]が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi] ▶ [Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi を自動的に ON にする**: 保存済みネットワークの検出時に[Wi-Fi]をONにするか設定します。
- **オープン ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- **接続不良のとき無効にする**: 安定したインターネット接続があるときのみWi-Fi機能を利用するか設定します。
- **証明書のインストール**: 証明書をインストールします。
- **ネットワーク評価プロバイダ**: ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
- **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Directについて設定します。
- **MAC アドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ ▶ [削除]

モバイル ネットワーク

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **モバイルデータ**: モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
- **データローミング**: データローミングについては  P.200「データローミング」
- **アプリのデータ使用量**: モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
- **通話モード設定**: VoLTEを利用するか設定します。
- **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについては  P.200「優先ネットワークタイプ」
- **ネットワークを自動的に選択**: ネットワークを自動的に選択については  P.201「通信事業者の設定」
- **ネットワークを選択**: ネットワークを選択については  P.201「通信事業者の設定」
- **アクセス ポイント名**: アクセスポイントの設定や確認をします。

[アプリのデータ使用量]について

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量はMy docomoで確認することができます。

■ データの警告と制限

モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アプリのデータ使用量] ▶ []

- [アプリのデータ使用量のサイクル] をタッチすると、月単位の測定開始日を設定できます。
- [データ警告を設定] をONにすると、データ使用量が設定値に達した場合に通知することができます。値は[データ警告]で設定できます。
- [データ上限を設定] をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
 - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK] をタッチすると、次の測定開始日までデータ通信を停止します。[再開] をタッチすると、データ通信を再開します。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [詳細設定] ▶ [アクセス ポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

2 [+]

3 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]

4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [] ▶ [保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定が初期状態に戻ります。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [詳細設定] ▶ [アクセス ポイント名]

2 [:] ▶ [初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.192「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。また、ネットワーク名やセキュリティ、パスワードなどを設定したり、本端末が接続されていないときにテザリングをOFFにするか設定できます。
- **USB テザリング**: USB テザリングを利用するか設定します。
- **Bluetooth テザリング**: Bluetooth テザリングを利用するか設定します。

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- 初期状態では、ネットワーク名は[SH-03K_AP]、セキュリティは[WPA2-Personal]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[USB テザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。
- USB テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

接続済みのデバイス

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。詳しくはP.193「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- **USB**: パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続についてはP.195「パソコンなどとの接続」
- **新しいデバイスとペア設定する**: 使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。操作についてはP.192「Bluetooth機能の利用」
- **接続の設定**: 接続の設定についてはP.158「接続の設定」

■ 接続の設定

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.190「Bluetooth®機能」
- **NFC/おサイフケータイ 設定**: NFC/おサイフケータイ 設定についてはP.128「NFC/おサイフケータイ 設定」
- **キャスト**: キャストについてはP.197「キャスト」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
- **Bluetooth で受信したファイル**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。
- **Chromebook**: Chromebook™との接続について設定します。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **最近開いたアプリ**: 最近開いたアプリやアプリ情報についてはP.159「アプリ情報」
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **利用時間**: アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **権限マネージャ**: 権限マネージャについてはP.61「利用する機能について設定」
- **エリアメール**: エリアメールについてはP.104「緊急速報「エリアメール」を設定する」
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [通知]
- 3 [ロック画面上の通知] ▶ 通知の表示設定を選ぶ
- 4 [ロック画面の通知を整理]の[] / []

- ロック画面の表示に関する他の設定などについては
P.164「ロック画面の表示」

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
 - [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]

電池

電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。

1 ホーム画面で[電池] ▶ [設定] ▶ [電池]

- 電池残量や利用状況などが表示されます。
- [電池使用量]と操作すると、アプリごとの電池使用量を確認できます。アプリごとの電池使用量は、次のタイミングでリセットされます。
 - 電池残量90%以上まで充電し、充電機器を取り外したとき
 - 充電中ではなく、電池残量が90%以上ある状態で、本端末の電源が入ったとき

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**: 長エネスイッチについてはP.160「長エネスイッチ」
- **自動調整バッテリー**: 使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
- **電池残量**: ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。
- **前回のフル充電**: フル充電後から経過した時間を確認できます。
- **最後にフル充電してからの使用時間**: フル充電後の電池使用時間を確認できます。
- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定についてはP.62「電池の最適化の設定」

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [電池] ▶ [長エネスイッチ]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると電池残量に関係なく[長エネスイッチ]のON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **スケジュールの設定**: [残量に基づく]を設定すると、設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにできます。
- **フル充電で無効**: 電池残量が90%になった場合に、長エネスイッチを自動でOFFにするか設定します。
- **画面の明るさを最小にする**: 長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小値にするか設定します。
- **画面の滑らかさを制限する**: 長エネスイッチがONの場合に画面の滑らかな動作を制限するか設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは[OFF]になります。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- **明るさの自動調節**: バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **ダークテーマ**: 黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **画面消灯(スリープ)**: バックライトの点灯時間を設定します。
- **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
 - ・ [ロックフォトシャッフル] をONに設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。
- **文字フォント設定**: 文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ナビゲーションバーを隠す**: ナビゲーションバーを非表示にするか設定します。
 - ・ ONに設定した場合は画面下部を上からスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。
- **なめらかハイスピード表示**: アプリをなめらかに表示するか設定します。

- **ヒカリエーション**: ヒカリエーションについてはP.162「ヒカリエーション」
- **リラックスビュー**: リラックスビューについてはP.163「リラックスビュー」
- **のぞき見ブロック**: のぞき見ブロックについてはP.163「のぞき見ブロック」
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **ロック画面の表示**: ロック画面の表示についてはP.164「ロック画面の表示」
- **基本設定**: ディスプレイに表示する基本の画質を設定します。
- **HDR動画**: HDR動画の画質を設定します。
- **バーチャルHDR**: 標準動画をHDR動画のような画質にするか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **グローブモード**: 手袋をしたままで画面をタッチして操作できるようにするか設定します。

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面消灯(スリープ)]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

[なめらかハイスピード表示]について

- アプリによっては効果が得られないことがあります。その場合は、設定をOFFにしてください。
また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- アプリを起動したまま設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は、一度アプリを終了してください。

[画面の自動回転]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。
- OFFに設定した場合、端末を回転させても、画面の表示は回転しません。アプリによっては端末を回転させるとナビゲーションバーに[]が表示され、タッチすると画面の表示が回転します。

[グローブモード]について

- 手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
- 手袋をしていないときは、[グローブモード]をOFFにしてご利用ください。

ヒカリエモーション

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [ヒカリエモーション]

2 ONにする

3 項目を選ぶ

- **電話着信中**: 着信時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **電話着信パターン／カラー**: 着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
- **充電開始時**: 充電開始時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **ロック解除時**: タッチパネルのロック解除時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **終話時**: 通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるか設定します。

リラックスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [リラックスビュー]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると [リラックスビュー] のON/OFFを設定できます。[今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] は [スケジュール] を設定すると設定内容に合わせ表示が切り替わります。

2 項目を選ぶ

- **輝度**: [リラックスビュー] がONの場合の輝度を調整します。
- **スケジュール**: 特定の時間帯に [リラックスビュー] をONにするか設定します。[指定した時間にON] に設定すると [開始時間] や [終了時間] を設定できます。

- [リラックスビュー] をONにしても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からアルバムの起動や直前に撮影した静止画 / 動画の表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見ブロック**: [のぞき見ブロック] をONにするか設定します。
- **表示パターン**: 表示パターンを設定します。
- **強弱設定**: 周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると [のぞき見ブロック] がOFFになります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

ロック画面の表示

ロック画面の表示について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [ロック画面の表示]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面**: タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面の通知を整理**: ロック画面で一度見た通知を非表示にするか設定します。
- **ロック画面メッセージ**: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージを設定します。
- **ロックダウン オプションの表示**:  (電源キー) を2秒以上押したときに表示されるメニューに、[ロックダウン] を表示するか設定します。
[ロックダウン] をタッチすると、Smart Lockや指紋認証によるロック解除、ロック画面上の通知を無効にします。

[ロック画面]について

- [ロック解除時のみプライベートな内容を表示] を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - [ロック解除時のみプライベートな内容を表示] は、画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。

[ロック画面の通知を整理]について

- 削除できない通知は非表示になりません。また、この機能によってステータスパネルの通知詳細情報が消去されることはありません。

[ロックダウン オプションの表示]について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [音]

2 項目を選ぶ

- **メディアの音量**:メディア音(音楽や動画、テレビなど)の音量を設定します。
- **通話の音量**:通話中の音量を設定します。
- **着信音の音量**:着信音の音量を設定します。
- **アラームの音量**:アラームの音量を設定します。
- **着信時のバイブレーション**:着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **高度なマナーモード**:高度なマナーモードについてはP.57「マナーモードの高度な設定」
- **着信音を停止**: (電源キー)と (+)を同時に押して、[マナーモード(バイブ)]や[マナーモード(ミュート)]を設定できるようにします。
- **着信音**:着信音を設定します。
- **デフォルトの通知音**:お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**:アラーム音を設定します。
- **詳細設定**:詳細設定についてはP.165「Dolby Atmosの設定」
- **ダイヤルパッドの操作音**:ダイヤル音の有無を設定します。
- **画面ロック音**:タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **充電時の音とバイブレーション**:充電を開始したときの音とバイブレーションの有無を設定します。
- **タッチ操作音**:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。

- **タップ操作時のバイブ**:ナビゲーションキーなどをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。

Dolby Atmosの設定

Dolby Atmosをオンに設定すると、Dolby Atmosコンテンツによる3Dサラウンド効果をお楽しみいただけます*。

また、Dolby Atmosコンテンツ以外では、メディア音、着信音、アラーム音にオーディオエフェクトがかかります。

※3Dサラウンド効果をお楽しみいただくには、市販のイヤホン・ヘッドホンが必要です。(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています。)

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [音] ▶ [詳細設定] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

- をタッチするごとに、Dolby Atmosのオン(青色)/オフ(黒色)を切り替えることができます。
- [ダイナミック]/[映画]/[音楽]/[カスタム]をタッチして使用するプロファイルを切り替えることができます。
- 各プロファイルの設定を初期状態に戻すには、プロファイル名の右側に表示される をタッチしてください。

AQUOS便利機能

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [AQUOS便利機能]

2 項目を選ぶ

- **なめらかハイスピード表示**: なめらかハイスピード表示についてはP.161「ディスプレイ」
- **リッチカラーテクノロジーモバイル**: 用途にあわせた最適な画質に設定する機能がまとめられています。各機能についてはP.161「ディスプレイ」
- **指紋センサー**: 指紋センサーについてはP.175「指紋認証」
- **スクロールオート**: スクロールオートについてはP.167「スクロールオート」
- **エモパー**: エモパーについてはP.142「エモパー」
- **Clip Now**: Clip NowについてはP.167「Clip Now」
- **自動画面点灯**: 自動画面点灯についてはP.168「自動画面点灯」
- **スマホカバー設定**: AQUOS Frosted Cover(別売)を装着する場合に、[AQUOS Frosted Cover]をONに設定します。
 - ・ カバーの開閉によってディスプレイの表示/非表示を切り替えることができます。カバーを閉じているときにディスプレイを表示すると、画面はくもった状態となります。カバーをなぞるとなぞったところのくもりが消え、カバーを閉じたまま通知の確認や操作ができます。
 - ・ [Frost Signの使い方]で、カバーの上に記号を描くと使える便利な機能を確認できます。

- ・ [AQUOS Frosted Coverの詳しい情報はこちら]でAQUOS Frosted Coverの利用方法などを確認できます。

- **ロボクル設定**: ロボクル設定についてはP.168「ロボクル設定」

AQUOS Frosted Coverについて

- [グローブモード]をONにしても、カバーの上からは手袋をしたまま操作できないことがあります。
- 次の場合は、カバーを閉じているときでも画面はくもりません。
 - 着信時
 - カメラ起動時
 - アラーム鳴動時
 - エモパーがお話するとき
- カバーを閉じている場合、エモパーは画面表示のみのお知らせは行いません。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできません。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**: スクロールオートを利用するか設定します。
- **対象アプリ設定**: スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- **ステータスバーへの通知**: 対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ ▶ 表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整: [+] / [-]
- スクロールの一時停止 / 再開: [||] / [▶]
- スクロールの停止: 画面をタッチ
- スクロールオートの設定: [⚙]

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

- 自動スクロール中は画面の左端に[]が表示され、スクロールの動きを表します。

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [Clip Now] ▶ [Clip Now]の[] / []

2 項目を選ぶ

- **Clip Now**: なぞる向きを設定します。
- **使い方ガイド**: Clip Nowについての説明を表示します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の縁をなぞる

- [Clip Now]で設定している向きになぞってください。

自動画面点灯

端末を持ち上げたときや手に持っているときのディスプレイ表示について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [自動画面点灯]

2 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**: ディスプレイの表示が消えている場合、端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- **Bright Keep**: 端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- 初期状態はONになっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
 - 端末を持ったまま動いている場合(乗車中)
 - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、端末を動かし続けている場合
 - 垂直または水平に持ち上げた場合

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。

ロボクル設定

ロボクル(市販品)に端末を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモパーがお話しします。ロボクルはエモパーと連動し、エモパー動作時にはお客様の方を向いてお話しします。

- エモパーをONにすると、より多くの場面でエモパーに連動してロボクルが動作します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [ロボクル設定]

2 項目を選ぶ

- **ロボクルの動作**: 本端末をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるか設定します。
- **ロボクルの詳しい情報はこちら**: シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.188「ファイル操作」

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
 - microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除：[SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント：[SDカード]／USBメモリ名を選ぶ ▶ [マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ
- 3 [:] ▶ [ストレージの設定] ▶ [フォーマット] ▶ [SDカードをフォーマット]／[USBドライブをフォーマット]
- 4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[ロックNo. (PIN)]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - 画面ロックについてはP.171「セキュリティ」

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]
- 2 [SDカード]
- 3 [::] ▶ [ストレージの設定] ▶ [暗号化] / [暗号化解除] ▶ [確認]
 - 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- 4 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

プライバシー

権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [プライバシー]
- 2 項目を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [位置情報]
- 2 [位置情報の使用]をONにする
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[設定する]を選択してください。
 - [最近の位置情報リクエスト]がある場合は、アプリをタッチすると情報を確認できます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると一覧が表示されます。

3 項目を選ぶ

- **アプリの権限**: 位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **Androidサービス以外の権限**: Androidサービス以外の位置情報に対するアクセス権限を変更します。
- **Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン**: 位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、Googleの位置情報サービスを利用できます。
- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

セキュリティ

セキュリティロックなどについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- **Google Play プロテクト**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **デバイスを探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を実行できるようにするか設定します。
- **セキュリティ アップデート**: ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについてはP.215「ソフトウェアアップデート」
- **Google Play システム アップデート**: Google Play システムレベルのアップデートを確認します。
- **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- **指紋**: 指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.175「指紋認証」
- **Smart Lock**: 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できるデバイスなどを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプまたはタッチで解除するように設定します。
- **デバイス管理アプリ**: アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。

- **SIM カードロック設定**: SIM カードロック設定については P.177「SIM カードロック設定」
- **暗号化と認証情報**: スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼エージェント**: タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法については P.58「アプリ使用履歴」

【画面ロック】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし: タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプまたはタッチ:  をタッチしてロックを解除するように設定します。ロック画面・ホーム一括切替で [AQUOS Home] / [AQUOSかんたんホーム] を選択した場合は、時計や通知などが表示されていない部分を上にスワイプしてロックを解除します。
 - パターン: 4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - ロックNo.(PIN): 4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - 一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを [パターン] / [ロックNo.(PIN)] / [パスワード] に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [パターン] / [ロックNo.(PIN)] / [パスワード] の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続: 30秒間
 - 10回連続: 30秒間
 10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの  をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする:  (電源キー) を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- [パターン] / [ロックNo.(PIN)] / [パスワード] を忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

端末起動時のロック解除について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定するときは、端末を起動する際にロック解除を行うようにするかを設定できます。
- 端末起動時のロック解除の際、[パターン]／[ロックNo. (PIN)]／[パスワード]の入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力できません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、設定したロック解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[]などの解除アイコンをロングタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。
 - ・ ロック画面・ホーム一括切替が[AQUOS Home]／[AQUOSかんたんホーム]の場合は、[]などの解除アイコンをロングタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証ストレージの消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.177「SIM カードロック設定」）。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■ dアカウント

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。

■ Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(※P.171「セキュリティ」)。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- ホーム画面で[]▶[設定]▶[AQUOS便利機能]▶[指紋センサー]▶[指紋登録]でも指紋を設定できます。
- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - ・ 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプまたはタッチ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- ホーム画面で[]▶[設定]▶[AQUOS便利機能]▶[指紋センサー]▶[指紋登録]でも指紋を設定できます。
- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加:[指紋を追加]▶画面の指示に従って操作
- 登録名の変更:登録済みの指紋をタッチ▶名前を入力▶[OK]
- 登録した指紋の削除:登録済みの指紋の[]▶[削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中／タッチパネルのロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ ホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタッチして、ディスプレイを表示することができます。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても、ホームキーとして利用できます。
- 指紋を登録していない場合、画面消灯中に指紋センサーをタッチするとディスプレイが表示されます。
指紋を登録している場合、登録した指紋と異なる指でタッチしたときは、ディスプレイは表示されません。

1 ホーム画面で[指紋センサー] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ホームキーとして使う]

■ ジェスチャーも使う

指紋センサーをなぞることで戻るキー／アプリ使用履歴キーとして使うことができます。

- あらかじめ[ホームキーとして使う]をONにしておいてください。

1 ホーム画面で[指紋センサー] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ジェスチャーも使う]の[] / []

- [ジェスチャーも使う]をタッチするとなぞる向きを変更したり、左右になぞって利用するアプリを切り替えるように設定することができます。

■ ナビゲーションバーを隠す

ナビゲーションバーを非表示にするか設定します。

- ONに設定した場合は画面下部の上にスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。

1 ホーム画面で[指紋センサー] ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ナビゲーションバーを隠す]

SIM カードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面で[指紋センサー] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [詳細設定] ▶ [SIM カードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**: 電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**: PINコードを変更します。

- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 設定はドコモnanoUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

ドコモのサービス／クラウド

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **ドコモクラウド**: ドコモクラウドについて設定します。
- **ドコモアプリデータバックアップ**: 各アプリのデータバックアップ／復元の設定やデータがバックアップされたアプリの一覧を確認します。
- **ドコモアプリ管理**: アプリのアップデートの確認などについて設定します。
- **おすすめアプリ**: おすすめアプリの設定や過去に受信した通知の確認ができます。
- **おすすめ使い方ヒント**: おすすめ使い方ヒントを利用するか設定します。
- **オートGPS**: オートGPSについて設定します。
- **ドコモ位置情報**: イマドコサーチやイマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **端末アプリ情報送信**: 端末アプリ情報をサーバーへ送信するか設定します。
- **会員情報／プロフィール情報設定**: ドコモサービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を確認したり、変更したりできます。

- **ドコモサービス初期設定**: ドコモサービスの初期設定を行います。
- **USBデバッグ切替**: USBデバッグを有効にするか設定します。
- **オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス／クラウドに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、ドコモのサービス／クラウドには表示されなくなる場合があります。
- ドコモ提供のアプリを新しくダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドに表示される場合があります。

アカウント

Googleなどのアカウントの設定

- Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント] ▶ [アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント] で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント]
- 2 アカウントを選ぶ ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]
 - アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

- 1 ホーム画面で[]
- 2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力 ▶ [実行] ▶ [ログイン]
- 3 メールアドレスを入力 ▶ [次へ] ▶ [パスワードをお忘れの場合] ▶ 画面の指示に従って操作
 - 利用状況により操作方法が異なります。

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント]
- 2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]
 - 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期] ▶ 項目を選ぶ

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。
- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント]
 - 2 アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期]
 - 3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **音量キーのショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**: 文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ダークテーマ**: 黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **拡大**: ディスプレイを3回タッチするか[]をタッチして拡大/縮小するか設定します。
- **色補正**: ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **色反転**: ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**: ポインタを大きくするか設定します。
- **アニメーションの削除**: 表示のアニメーションを省略するか設定します。
- **停止時間**: ポインタが停止した際の動作を設定します。
- **電源ボタンで通話を終了**: [](電源キー)を押して通話を終了するか設定します。

- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **長押しする時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)**: 短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を指定できます。
- **バイブレーションと触覚フィードバックの強さ**: 着信時や通知時、タッチ操作時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **オーディオ バランス**: 左右のスピーカーの音量バランスを設定します。
- **字幕の設定**: 字幕の表示について設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [画面消灯(スリープ)]の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、[](電源キー)を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に[](電源キー)を押すと、通話が終了します。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

- Digital Wellbeing ツールが展開されていない場合は、[データを表示]をタッチして項目を表示してください。
- 端末の使用制限について設定する場合は、[保護者による使用制限を設定する]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

2 項目を選ぶ

- **ダッシュボード**: 端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- **おやすみモード**: 指定した時間に画面をグレースケールにしたり、高度なマナーモードを設定したりします。
- **通知を管理**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **サイレント モード**: 高度なマナーモードを設定します。高度なマナーモードについてはP.57「マナーモードの高度な設定」
- **アプリの一覧にアイコンを表示**: ホーム画面(アプリ一覧)に Digital Wellbeing と保護者による使用制限のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面で[言語] ▶ [設定] ▶ [システム]

2 項目を選ぶ

- **言語と入力**: 言語と入力についてはP.182「言語と入力」
- **操作**: カメラの起動操作やナビゲーションバーの操作、着信音の鳴動時の操作について設定します。
- **日付と時刻**: 日付と時刻についてはP.183「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- **データ引継**: データ引継についてはP.183「データ引継」
- **リセット オプション**: リセット オプションについてはP.185「リセット オプション」
- **ソフトウェアアップデート**: ソフトウェアアップデートについてはP.215「ソフトウェアアップデート」

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面で[言語] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**: ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **自動入力サービス**: 自動入力サービスについて設定します。
 - [設定] をタッチすると、Googleアカウントを利用した自動入力について設定できます。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

【仮想キーボード】について

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。
S-Shoinの設定についてはP.47「文字入力の設定」

【スペルチェック】について

- 日本語には対応していません。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[システム]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークの時刻を使用する**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **日付**: 日付を手動で設定します。
- **時刻**: 時刻を手動で設定します。
- **ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **タイムゾーン**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **言語 / 地域のデフォルトを使用する**: ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
- **24時間表示**: 12時間制 / 24時間制を手動で切り替えます。

[ネットワークの時刻を使用する]をONにしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ / 復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ / 復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - カレンダー
 - ユーザー辞書 / 学習辞書 (S-Shoin)
 - エモパー
- microSDカードを利用したバックアップ / 復元中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が少ない場合は、microSDカードにバックアップできないことがあります。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[システム]▶[詳細設定]▶[データ引継]

2 項目を選ぶ

- **データ取り込み**: microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- **SDカードにデータ保存**: microSDカードにデータを保存します。
- **機能紹介**: 使いかたを動画で確認することができます。

■ バックアップファイルの保存

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継]
- 2 [SDカードにデータ保存]
- 3 保存するデータカテゴリを選ぶ
 - [電話帳]や[カレンダー]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。
- 4 [保存] ▶ [はい]
- 5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの取り込み

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継]
- 2 [データ取り込み]
- 3 [取り込む]
- 4 取り込むバックアップファイルを選ぶ ▶ [追加登録] / [削除して登録]
 - 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。
- 5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継]
- 2 [:] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
 - **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
 - **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

■ Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [データ引継]
- 2 [データ取り込み]
- 3 取り込み元の端末の種類を選ぶ
 - microSDカードのバックアップデータについての確認画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。
- 4 [次へ]
- 5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする
▶ [次へ]
 - 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。
- 6 取り込み元の端末を選ぶ
- 7 [開始]
 - ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 8 [次へ]
- 9 [追加登録]／[削除して登録] ▶ [OK]
 - アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。
- 10 [OK]

リセット オプション

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [リセット オプション]
- 2 項目を選ぶ
 - **Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット**: Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
 - **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をすべてリセットします。
 - **すべてのデータを消去(出荷時リセット)**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]について

- [SDカード内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 「設定」アプリで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ

デバイス情報

デバイス情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号**: 電話番号を確認できます。
- **緊急時情報**: 緊急時情報を設定できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **認証**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **センサー感度補正**: モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **電池製造情報**: 電池製造情報を確認できます。
- **SIMのステータス**: ドコモnanoUIMカード情報を確認できます。
- **モデルとハードウェア**: モデル名やシリアル番号を確認できます。
- **IMEI**: IMEI情報を確認できます。
- **Androidバージョン**: Android/バージョンを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: 「使いこなしガイド」を確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

■ セルフチェック

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [お困りのときは] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動: [] ▶ [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ] / [診断したい箇所を選ぶ]

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止: [スキップ] ▶ [診断中止]
- 診断項目のスキップ: [スキップ] ▶ [スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名: 内部共有ストレージ
 - ・ パス: /storage/emulated/0
- 初期状態の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。

PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ／ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

- 1 データー一覧画面で[:]▶[新しいフォルダ]
- 2 フォルダ名を入力▶[OK]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:]▶[名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力▶[OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [🗑]▶[OK]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:]▶[移動...]/[コピー...]
- 3 移動先／コピー先で[移動]/[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データー一覧画面で[Q]
- 2 検索するキーワードを入力▶[Q]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面で[📁]▶[設定]▶[ストレージ]▶[内部共有ストレージ]▶[空き容量を増やす]
 - microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面で[📁]▶[設定]▶[ストレージ]▶[空き容量を増やす]と操作してください。
- 2 削除するデータを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

■ 仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.5.0※1

■ 出力

Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class 1、LE: Power Class 1.5

■ 対応プロファイル※2(対応サービス)

HSP: Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※3

HFP: Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※4

A2DP: Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※5

AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※5

HID: Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェイスデバイスプロファイル)※6

OPP: Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※7

SPP: Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※8

PBAP: Phone Book Access Profile(フオンブックアクセスプロファイル)※9

PAN: Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※10

HOGP: HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※11

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビなどを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合があります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。

- ※9 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※10 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。
- ※11 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みのデバイス]を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[※]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると、接続解除中のBluetooth機器の一覧が表示されます。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- []が表示されている場合は、[]をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON／OFFを切り替えることができます。
- 名称変更:[]▶名前を入力▶[名前を変更]
- 接続／接続解除:[接続]／[接続を解除]
- 登録解除:[削除]▶[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力▶[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面で[アルバム]

2 送信する静止画をロングタッチ

3 []▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

- Reader／Writer, P2P機能の設定についてはP.128「NFC／おサイフケータイ 設定」

外部機器接続

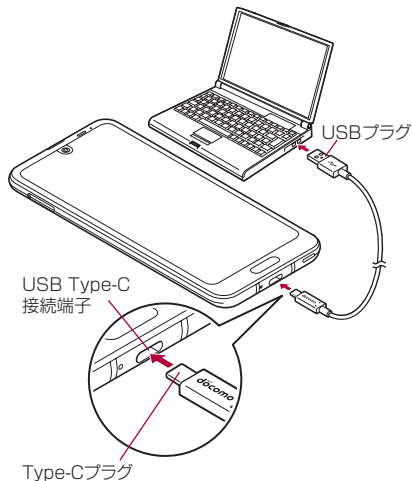
パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 01 (別売) を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 01 のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USBケーブル A to C 01 のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

- 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



パソコンと接続する場合

3 [USB の管理]でデバイス側を選ぶ

- **接続済みのデバイス**: 接続済みの相手端末がデバイスになります。
- **このデバイス**: 本端末がデバイスになります。
- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
 - ・ [接続済みのデバイス]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト／本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト／相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USB の使用]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送**: MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **USB デザリング**: USB デザリングについてはP.156「デザリング」
- **MIDI**: 端末をMIDI入力に使用します。
- **PTP**: PTP対応の相手機と本体メモリの間で静止画を転送します。
- **データ転送なし**: 端末の充電のみ利用できます。
- [USB の管理]で[このデバイス](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
[接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USBケーブル A to C 01を取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

Role Swap対応機器を接続した場合の充電について

- USBの設定画面で[接続デバイスの充電]をONに設定すると相手機を充電することができます。

USB3.1対応のUSBケーブルでの接続について

- 初期状態では、USB2.0規格になっています。USBの設定画面で[USB3.1で接続する]を有効にすると、USBのデータ通信速度が向上しますが、使用環境によっては、データ通信の接続が途中で不安定になることがあります。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例:アルバムを利用するとき

1 アルバムの画像表示画面で[]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(P.169「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。
- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[キャスト]

2 []▶[ワイヤレスディスプレイの有効化]

- [ワイヤレスディスプレイの有効化]を有効にすると[Wi-Fi]がONになり、接続可能な機器や接続したことのある機器がリスト表示されます。

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 接続解除:接続中の機器をタッチ▶[接続を解除]
- 接続中の機器や接続したことがある機器の場合は、[]が表示されることがあります。
 - 機器の表示名を変更:表示名を変更する機器の[]▶名前を入力▶[完了]
 - 機器をリストから削除:削除する機器の[]▶[削除]

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([])が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。

- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(※P.171「セキュリティ」)。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN] ▶ [＋]
- 2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、[データローミング]をONにしてください(☞P.200「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます(☞P.55「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願ひサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を[サービス開始]にする必要があります(☞P.85「ネットワークサービス」)。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます(☞P.205「ネットワークサービス(海外)」)。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[ネットワークを自動的に選択]をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(☞P.201「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [詳細設定] ▶ [優先ネットワークタイプ]

2 項目を選ぶ

- **4G/3G/GSM(自動)**: 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- **3G/GSM**: 3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **GSM**: GSM/GPRSネットワークを利用します。

通信事業者の設定

初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [詳細設定]

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は[ネットワークを選択]をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

[ネットワークを自動的に選択]について

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[モバイル データ]を無効にし(P.154「モバイル ネットワーク」)、再度操作してください。
- 自動でネットワークを切り替える場合は、ONに設定してください。

日付と時刻

日付と時刻の[ネットワークの時刻を使用する]、[ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については P.183「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本含む)に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国外から他の国へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[📞]▶[🌐]

2 「+」「0」をロングタッチ▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)を入力してください。

3 [📞]

- ビデオコールの発信:[ビデオコール]
 - ・ [ビデオコール]が表示されていない場合は[⋮]▶[ビデオコール]と操作してください。

4 通話が終了したら[🔴]

- ビデオコールについて詳しくは、「ビデオコール」(P.77)をご参照ください。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国外から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの[自動変換機能]をONに設定する必要があります(P.204「国際ダイヤルアシスト」)。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で[📞]▶[🌐]

2 地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力

3 [📞]

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は[発信]をタッチします。

4 通話が終了したら[🔴]

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[📞]▶[📍]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。

3 [📞]

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は[元の番号で発信]をタッチします。

4 通話が終了したら[🔴]

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいたときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいたときと同様に電話番号をダイヤルしてもらっただけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

● 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[📶]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話]

3 [海外設定]

4 項目を選ぶ

- **ローミング時着信規制**: 国際ローミング中に着信を規制することができます。
- **ローミング着信通知**: 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス**: 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **国際ダイヤルアシスト**: 国際ダイヤルアシストについては📞P.204「国際ダイヤルアシスト」
- **ネットワークサービス**: 滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。ネットワークサービスについては📞P.205「ネットワークサービス(海外)」

国際ダイヤルアシスト

1 ホーム画面で[📶]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話]

3 [海外設定]

4 [国際ダイヤルアシスト]

5 項目を選ぶ

- **自動変換機能**: 国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
- **国番号**: 自動変換機能で使用する国番号を選択します。
- **国際プレフィックス**: 自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

ネットワークサービス(海外)

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、遠隔操作設定を[サービス開始]にする必要があります(☞P.85「ネットワークサービス」)。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で

2 [:]▶[設定]▶[通話]

3 [海外設定]

4 [ネットワークサービス]

5 目的のサービスを選ぶ

- **遠隔操作(有料)**: 遠隔操作を開始するか設定します。
- **番号通知お願いサービス(有料)**: 発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
- **ローミング着信通知(有料)**: 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス(有料)**: 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **留守番電話サービス(有料)**: 電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします(お申し込み必要)。

- **転送でんわサービス(有料)**: かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます(お申し込み必要)。

6 画面の指示に従って操作

7 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング]をOFFに設定してください(☞P.200「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 優先ネットワークタイプを[4G/3G/GSM(自動)]に設定してください(☞P.200「優先ネットワークタイプ」)。
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください(☞P.201「通信事業者の設定」)。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(※P.215「ソフトウェアアップデート」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - ・ 電池切れになっていませんか。(※P.37「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ・ 〇(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
 - ・ バイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。
 - ・ 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - ・ アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
 - ・ アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(※P.38「ACアダプタで充電」)
 - ・ ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(※P.38「ACアダプタで充電」)
 - ・ USBケーブル A to C 01(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(※P.37「充電時のご注意」)
 - ・ NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらビデオコールやテレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(※P.37「充電時のご注意」)

- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞ P.39「電源を切る／再起動／非常用節電モード」、P.152「ネットワークとインターネット」
 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞ P.218「主な仕様」
 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。☞ P.37「内蔵電池の寿命」
 - 使用していないアプリは終了してください。☞ P.58「アプリ使用履歴」
 - 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞ P.152「Wi-Fi」、P.192「Bluetooth機能の利用」
 - 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞ P.160「長エネスイッチ」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。☞ P.39「電源を入れる」
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞ P.169「ストレージ」
- ドコモnanoUIMカードが認識しない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞ P.31「ドコモnanoUIMカード」
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[ネットワークの時刻を使用する]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞ P.183「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとは初期状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法
 電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで⌂(←)を押して続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態で⌂(電源キー)(2秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができます。
 また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞ P.187「セルフチェック」
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ウィジェットによっては消去される場合があります。

- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してご利用ください。
- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☎ P.159「アプリの有効」
 - アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。☎ P.60「アプリに必要な許可」
 - 電池の最適化を行っていませんか。☎ P.62「電池の最適化」

■ 通話

- 発信ができない
 - 機内モードを設定していませんか。☎ P.152「ネットワークとインターネット」
- 着信音が鳴らない
 - 着信音量を「0」にしていませんか。☎ P.165「音」
 - マナーモード、機内モードを設定していませんか。☎ P.57「マナーモードのモード切替」、P.152「ネットワークとインターネット」
 - 着信拒否を設定していませんか。☎ P.85「着信拒否設定」
 - 応答時間設定を「0秒」にしていませんか。☎ P.83「通話音声・伝言メモ」
 - 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。☎ P.85「ネットワークサービス」
- 通話ができない(場所を移動しても[電波]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。☎ P.31「ドコモnanoUIMカード」、P.39「電源を入れる／切る」
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[電波]」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否など着信制限を設定していませんか。☎ P.85「着信拒否設定」
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。☎ P.161「ディスプレイ」
 - ディスプレイの明るさを変更していませんか。☎ P.161「ディスプレイ」
 - [明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☎ P.161「ディスプレイ」
 - [のぞき見ブロック]をONに設定していませんか。☎ P.163「のぞき見ブロック」
 - [長エネスイッチ]をONに設定していませんか。☎ P.160「長エネスイッチ」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - 通話音量を変更していませんか。☎ P.81「通話音量調節」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - ・メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。☞P.100「メールのアカウントの設定」

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・カメラで近くの被写体を撮影するときは、撮影メニューを[接写]に切り替えてください。☞P.114「撮影メニューの切替」
 - ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.108「カメラをご利用になる前に」
- モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
 - ・カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ テレビ

- テレビの視聴ができない
 - ・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。☞P.130「放送波について」
 - ・チャンネルリストを作成していますか。☞P.131「チャンネルリスト作成」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - ・おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。

- ・NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.127「NFC／おサイフケータイ ロック」
- ・本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていませんか。☞P.28「各部の名称と機能」、P.127「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)
 - ・「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.199「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
- 海外で本端末が使えない(が表示されている場合)
 - ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.199「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
 - ・ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[4G／3G／GSM(自動)]に設定してください。[ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。☞P.200「優先ネットワークタイプ」、P.201「通信事業者の設定」
 - ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.39「電源を入れる／切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - ・[データローミング]をONにしてください。☞P.200「データローミング」

- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
 - ・ 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。P.195「パソコンなどの接続」
 - ・ USB接続の用途を正しく設定していますか。P.195「パソコンなどの接続」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。P.35「microSDカード」
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。P.192「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。P.39「電源を入れる／切る」

■ 地図・GPS機能

- オートGPSサービス情報が設定できない
 - ・ 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を[停止しない]に設定するか、充電することで設定できるようになります。P.37「充電」、P.178「ドコモのサービス／クラウド」
 - ・ [オートGPS動作設定]が無効になっていませんか。P.178「ドコモのサービス／クラウド」

エラーメッセージ

- [SIM カードなし - 通信サービスはありません]
 - ・ドコモnanoUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。[P.31「ドコモnanoUIMカード」]
- [xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]
 - ・何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に 표시됩니다。
- [空き容量わずか]
 - ・本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー 送信できませんでした]
[接続エラー 送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー しばらくたってから送り直してください]
 - ・メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に 표시됩니다。しばらくたってから送信し直してください。
- [このコンテンツを再生する権限がありません]
 - ・有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に 표시됩니다。

- [試行回数が上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。]
 - ・指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合に表示されます。指紋認証ではロックを解除できなくなりますので、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。]
 - ・指紋認証に5回失敗した場合に表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [しばらくお待ちください(音声サービス)]
 - ・音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [しばらくお待ちください(データサービス)]
 - ・パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [製造番号情報を利用します。よろしいですか？]
 - ・テレビや一部の機能で表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末やドコモnanoUIMカードの製造番号が送信されます。
- [接続できません。]
 - ・何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [送信できませんでした]
 - ・SMSが正しく送信できなかった場合に 표시됩니다。
 - ・メールを正常に送信できなかった場合に 표시됩니다。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

- [認識されませんでした]
[指を少しずらしてタッチしてください]
[指を離してから、もう一度センサーに触れてください。]
[指を離すのが早すぎます]
● 指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
● 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。[P.200「優先ネットワークタイプ」]
- [ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]
● 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作・設定やアプリの使いかた、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

また、あんしん遠隔サポートで契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

- 次の場合は、あんしん遠隔サポートを利用できません。
 - ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

■ オペレーターとの画面共有(電話でのお問い合わせ)

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

あんしん遠隔サポートセンター

- ドコモの携帯電話からの場合:  (局番なしの)15710(無料)
 - 一般電話などからの場合:  0120-783-360
- 受付時間:午前9:00～午後8:00(年中無休)

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で[>[遠隔サポート]>[電話で問い合わせる]>[>と操作してください。

2 ホーム画面で[>[遠隔サポート]

3 [接続画面に進む]

4 [同意する]

5 ドコモからご案内する接続番号を入力▶[開始]

6 接続後、遠隔サポートを開始

■ Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で[>[遠隔サポート]

2 [Q&Aサイト／アプリで調べる]

■ LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で[>[遠隔サポート]

2 [LINEで問い合わせる]

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- テレビアンテナケーブル SH01、SIM取り出しツールは無料修理保証の対象外となります。
- SIM取り出しツールは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。

- (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。

- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承ください。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■ お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適に利用いただけます。

- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモ nanoUIMカード未挿入の状態でのWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元でご確認ください。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから[ソフトウェアアップデート提供開始]、[ソフトウェアアップデート開始確認]の通知を選択し、更新を開始します。
 - 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、全画面で[今すぐ実施]／[後で]の確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
 - 本体設定から
ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [OK]と操作し、更新を開始します。
- ※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、[アップデートの必要はありません。このままご利用ください。]と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に[今すぐ実施]／[後で]の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、いずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

- **今すぐ実施**: すぐに更新ファイルのダウンロードを開始し、ダウンロード完了後、自動でインストールを開始します。
- **後で**: 時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。あらかじめおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、[予約時刻変更]をタッチ後に予約時刻を指定してください。

※ 後から予約時刻を変更する場合は、ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [予約時刻変更]から予約時刻を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
- ※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルボタンをタッチしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに[ソフトウェアアップデート完了]が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、[ソフトウェアアップデート完了]を選択すると最新の機能を紹介するページが表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報(機種や製造番号など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- ソフトウェアアップデート中でも、各種機能を利用可能です。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-03K
サイズ	高さ約156mm×幅約74mm× 厚さ約9.0mm(最厚部:約10.0mm)
質量	約181g
メモリ	ROM:64Gバイト※ ¹ RAM:4Gバイト
連続通話時間 ※2※3※4	FOMA/3G 約1300分 GSM 約1180分 VoLTE(音声通話) 約1770分 VoLTE(HD+)(音声通話) 約1490分
連続待受時間 ※3※4	FOMA/3G 静止時:約590時間(優先ネットワークタイ プ:4G/3G/GSM(自動))※ ⁵ GSM 静止時:約500時間(優先ネットワークタイ プ:4G/3G/GSM(自動))※ ⁵ LTE 静止時:約530時間(優先ネットワークタイ プ:4G/3G/GSM(自動))※ ⁵
テレビ視聴時間 ※4※6	フルセグ:約580分 ワンセグ:約640分

充電時間	ACアダプタ 07:約165分
ディスプレイ	方式 TFT(IGZO) 16,777,216色 サイズ 約6.0inch 画素数 4,377,600画素(Quad-HD+:横1,440 ピクセル×縦3,040ピクセル)
イヤホンマイク 端子	プラグの直径:3.5mmステレオミニプラグ 極数:4極
撮像素子	種類 標準アウトカメラ:裏面照射積層型 CMOS※ ⁷ 動画専用アウトカメラ:裏面照射積層型 CMOS※ ⁷ インカメラ:裏面照射積層型CMOS※ ⁷ サイズ 標準アウトカメラ:1/2.6inch 動画専用アウトカメラ:1/3.0inch インカメラ:1/3.0inch

カメラ部	有効画素数 標準アウトカメラ:約2260万画素 動画専用アウトカメラ:約1630万画素 インカメラ:約1630万画素 記録画素数(最大時) 標準アウトカメラ:約2260万画素 動画専用アウトカメラ:約1630万画素 インカメラ:約1630万画素 ズーム(デジタル) アウトカメラ:最大約8.0倍、30段階(静止画)／最大約8.0倍、30段階(動画) インカメラ:最大約8.0倍、30段階(静止画)／最大約8.0倍、30段階(動画)
記録部※8	ファイル形式 静止画:JPEG 動画:MP4 動画録画時間 制限なし(使用可能な空き容量に依存)
再生可能音声／動画	ファイル形式 音声:AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus 動画:H.264、MPEG-4、H.263、MPEG-2、VP8、VP9、H.265
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz／5GHz)※9/ac※10準拠

Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.5.0 出力 Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class1、LE: Power Class1.5 対応プロファイル(対応サービス/バージョン) HSP(1.2)、HFP(1.7)※11、A2DP(1.2)※12、AVRCP(1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、SPP(1.2)、PBAP(1.2)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)
言語	表示言語: 英語 P.220「表示言語」 入力言語(文字入力): 日本語、英語 入力言語(音声入力): Google音声入力による

- ※1 Android OSや初期状態で搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
使用可能な空き容量については、「ストレージ」(~~英語~~ P.169)をご参照ください。
- ※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※3 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、テレビ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話(通信)と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

- ※4 内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、テレビ視聴時間が短くなったりする場合があります。
- ※5 電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※6 テレビ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※7 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※8 「カメラ」利用時の仕様です(※P.108「カメラについて」)。
- ※9 MIMOに対応しています。
- ※10 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。
- ※11 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※12 音声コーデックaptX、aptX HD、SBC、AACに対応しています。

■ 表示言語

日本語、繁体中国語、広東語(簡体)、簡体中国語、広東語(繁体)、アフリカーンス語、アゲム語、アカン語、イナリ・サーミ語、アストゥリアス語、アゼルバイジャン語(ラテン文字)、バンバラ語、ボスニア語(ラテン文字)、ブルトン語、バサ語、カタロニア語、チェコ語、マコンデ語、ショナ語、ウェールズ語、デンマーク語、北サーミ語、ドイツ語、ルオ語、低地ソルブ語、ドゥアラ語、ヨルバ語、エストニア語、グシイ語、英語、スペイン語、バスク語、エウェ語、エウォンド語、フィリピン語、フェロー語、フランス語、フリジア語、フリウリ語、アイルランド語、マン島語、スコットランド・ゲール語、ガリシア語、キクユ語、ハウサ語、ベナ語、高地ソルブ語、クロアチア語、ハワイ語、ベンバ語、イボ語、ルンディ語、インドネシア語、サング語、北ンデベレ語、ズールー語、アイスランド語、イタリア語、ジョラ=フォニ語、

カーボベルデ・クレオール語、カコ語、グリーンランド語、カレンジン語、コーンウォール語、ナマ語、エンブ語、ロンボ語、カンバ語、マチャメ語、メル語、キニアルワンダ語、アス語、ルワ語、サンブル語、サンバー語、スワヒリ語、タイタ語、テソ語、ランギ語、ケルン語、コイラ・チーニ語、コイラボロ・センニ語、モーリシャス・クレオール語、ウンジョ語、ラコタ語、ラトビア語、トンガ語、ルクセンブルク語、リトアニア語、リンガラ語、ガンダ語、ルビヤ語、マサイ語、ハンガリー語、マクア・ミート語、マダガスカル語、マルタ語、マレー語、メタ語、ンゴンバ語、オランダ語、ノルウェー語(ブークモール)、ヤンベン語、ノルウェー語(ニーノシュク)、ウズベク語(ラテン文字)、ソガ語、オロモ語、ポーランド語、ポルトガル語、フラ語、バフィア語、ルーマニア語、チガ語、ロマンシュ語、ケチュア語、ニャンコレ語、サンゴ語、スイスドイツ語、セナ語、アルバニア語、ンジエムブーン語、スロバキア語、スロベニア語、ソマリ語、セルビア語(ラテン文字)、フィンランド語、スウェーデン語、中央アトラス・タマジクト語、カビル語、タサワク語、ヌエル語、ベトナム語、ルバ・カタング語、トルコ語、ヴァリス語、ザルマ語、ギリシャ語、アゼルバイジャン語(キリル文字)、ベラルーシ語、ボスニア語(キリル文字)、ブルガリア語、オセチ語、キルギス語、カザフ語、マケドニア語、モンゴル語、チェチェン語、ロシア語、サハ語、セルビア語(キリル文字)、ウズベク語(キリル文字)、ウクライナ語、ジョージア語、アルメニア語、ヘブライ語、ウイグル語、ウルドゥー語、ウズベク語(アラビア文字)、パシュトゥー語、パンジャブ語(アラビア文字)、アラビア語、ペルシア語、マーザンダラーン語、標準モロッコ・タマジクト語、アムハラ語、コンカニ語、ネパール語、ボド語、マラーティー語、ヒンディー語、アッサム語、ベンガル語、パンジャブ語(グルムキー文字)、グジャラート語、オリヤー語、タミル語、テルグ語、カンナダ語、マラーラム語、シンハラ語、タイ語、ラオ語、チベット語、ソンカ語、ミャンマー語、クメール語、チェロキー語、韓国語、四川語

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.85V
公称容量	3130mAh

■ テレビアンテナケーブル

品名	テレビアンテナケーブル SH01
長さ	約136mm
質量	約5g
4極ミニプラグ	丸型、直径3.5mm、4極

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-03Kの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.683W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.472W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

https://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-03K mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (※1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.683 W/kg (※2) and when worn on the body is 0.472 W/kg (※3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device. This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

https://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation Website:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
- ※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
- ※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.20 W/kg* and when worn on the body is 1.09 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe*, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※ The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-03K is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	docomo nano UIM card/non-docomo nano UIM cards non-docomo nano UIM cards can be used after SIMunlocking the handset.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz

LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz only)
WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz

GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)
------	--

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+12.2 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+18.0 dBm (ANT1 + ANT2)
WLAN 5 GHz	+18.0 dBm (ANT1 + ANT2)
NFC	0 dBμA/m at 10 m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.31 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.53 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00259.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. Also, may damage to the environment. Take the unnecessary handset to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 120.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%. Refer to the following for details on using it at a bathroom.
※P.22 “SH-03Kが有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents etc.

■ Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General Inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

 **0120-005-250 (toll free)**

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 151 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 113 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
NTT DOCOMO website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display "+" on the screen

-81-3-6832-6600
(toll free)

(to enter "+", touch and hold "0".)

- ※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600 (charges apply)
--	------------------------------------

※ You are charged a call fee to Japan.

※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.

- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「dポイント」、「d払い」、「dヘルスケア」、「dブック」、「おサイフケータイ」、「my daiz」、「my daiz／マイデイズ」、「トルカ」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ絵文字®」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「spモード」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」、「あんしん遠隔サポート」、「eトリセツ」、「dフォト」、「はなして翻訳」、「マイマガジン」、「LIVE UX」、「スグ電」、「オフィスリンク」、「トルカ」ロゴ、「iD」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dポイント」ロゴ、「d払い」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「dブックマイ本棚」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「地図アプリ」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- ㊞はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触 I C カードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Miracast™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<https://www.openssl.org/>)

この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社の iWnn を使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2019 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2019 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ M を搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 本製品の音声合成ソフトウェアには HOYA サービス株式会社の VoiceText を使用しています。VoiceText は、Voiceware 社の登録商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、Nuance Communications, Inc. の VoCon® Hybrid を使用しています。

- Nuance および VoCon® Hybrid は米国および／またはその他の国における Nuance Communications, Inc. またはその関連会社の登録商標です。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、および Gガイド関連ロゴは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Dolby Atmos およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
Dolby Vision はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google フォト™ は、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOS かんたんホーム」、「AQUOS 便利機能」、「AQUOS Frosted Cover」、「Frost Sign」、「スロートーク／Slow Talk」、「Bright Keep」、「ワンタッチシャッター」、「あとからキャプチャー」、「インテリジェントフレーミング」、「AI ライブシャッター」、「ロボクル／ROBOQUL」、「エモパーク／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「バーチャル HDR」、「エスショイン／S-Shoin」、「クリップナウ／Clip Now」、「ヒカリエモーション」、「ロックフォトシャッフル」、「長エネスイッチ」、「リラックスビュー／RelaxView」、「なめらかハイスピード表示」、「からだメイト」、「AQUOS」ロゴ、「AQUOS R2」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面から
[設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [法的情報] ▶ [サードパーティ ライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

- SIMカードの取り付け／取り外しについては(P.31
「ドコモnanoUIMカード」)

2 端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力 ▶ [ロック解除]

索引

■ 名前から探す

あ

アイコンの見かた	53
相手からの電話のかけかた	203
アカウントを追加	102
明るさの自動調節	161
明るさのレベル	161
空き容量確認	83
アクセス ポイント名	154
新しい連絡先のデフォルト アカウント	90
あとからキャプチャー	122
後で	216
あなたについて	143
アニメーションの削除	180
アプリ一覧	67
アプリ一覧画面の見かた	66
アプリ情報	159
アプリ使用履歴	58
アプリ初回起動時の確認画面について	60
アプリと通知	158
アプリ内データ全件削除	141
アプリに必要な許可	60
アプリの一覧にアイコンを表示	181
アプリの管理	72
アプリの権限	171
アプリの購入	124

アプリの設定をリセット	185
アプリのデータ使用量	154
アラーム	
スケジュールの設定	141
時計	138
アラーム設定	135
アラームの音量	165
アルバム	118
暗号化と認証情報	172
あんしん遠隔サポート	212
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
位置情報	170
位置情報付加	117
一括シンプル切替	48
今すぐ実施	216
色反転	180
色補正	180
インカメラ小顔補正	116
インカメラ美肌調整	116
インカメラレンズ補正	116
印刷	158
インテリジェントフレーミング	116
インポート	90
ウィジェットを表示	65
受取確認通知	94
英語	49
英語ガイダンス	85
映像切替	136
エクスポート	91
エモパー	142
エモパー選択	143
エモパー使い方ガイド	143

エモパーの記憶	143
エモパーの話題	143
エモパーへの話しかけ方	143
エモパーヘルスケア	143
エモパーメモ	143
エリアメールの許可	104
エリアメールの履歴	104
遠隔操作設定	85
遠隔操作(有料)	205
応答	86
応答拒否SMS	84
応答時間設定	83
応答メッセージ確認	83
大きなマウスポインタ	180
オーディオ バランス	180
オート	114
オートGPS	178
オートHDR	116
オープンソースライセンス	
通話設定／その他	84
ドコモのサービス／クラウド	178
オープン ネットワークの通知	154
お困りのときは	187
おサイフケータイ	125
「おサイフケータイ対応サービス」の利用	126
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	125
お支払い方法	106
おすすめアプリ	178
おすすめアプリを利用	73
おすすめ機能の紹介	143
おすすめ使い方ヒント	178
音	165

お問い合わせ	201
オフィスリンク設定	84
オフタイマー設定	135
主な仕様	218
おやすみモード	181
音声切替	136
音声多重切替	136
音量キーのショートカット	180

か

会員情報／プロフィール情報設定	178
海外設定	84
海外でご利用になる前に	199
海外で利用可能なサービス	199
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	203
海外利用	199
海外利用設定	
スケジュールの設定	141
電話帳を設定	90
開始曜日	141
ガイド線	116
ガイド表示	48
外部アプリ連携	47
学習辞書リセット	
その他	49
文字入力の設定	47
拡大	180
各部の名称と機能	28
風切り音低減	117
画質とデータ量	117
仮想キーボード	182

括弧内カーソル移動	49	キーポップアップ	49
稼働時間	186	帰国後の確認	205
カナ英数キー表示	48	きせかえの変更	65
壁紙	161	きせかえを変更	65
壁紙の変更	65	輝度	163
壁紙を変更	65	起動画面	141
カメラ切替	117	機内モード	152
カメラについて	108	機能紹介	183
カメラの設定	116	機能利用中の操作	42
カメラをご利用になる前に	108	基本設定	161
画面消灯(スリープ)	161	基本操作	40
画面の明るさを最小にする	160	基本動作について	143
画面の固定	172	キャスト	197
画面の自動回転		逆光	114
ディスプレイ	161	キャッチホン	85
ユーザー補助	180	強弱設定	163
画面の滑らかさを制限する	160	共有	90
画面表示/アイコン	53	緊急時情報	186
画面ロック	171	緊急速報「エリアメール」	103
画面ロック音	165	緊急速報「エリアメール」を受信する	103
からだメイト	146	緊急速報「エリアメール」を設定する	104
キー操作	47	緊急通報	77
キー操作音	49	くっきり	114
キー操作バイブ	49	国番号	204
キー操作バイブ時間	49	クラウド設定	141
キーボードイメージ		クラウドメニュー	90
表示	48	グローブモード	161
文字入力の設定	47	携帯電話機の比吸収率(SAR)について	221
キーボードタイプ		結果画面閲覧	184
表示	48	権限マネージャ	61
文字入力の設定	47	言語	
キーボードの見かた	45	Chromeの設定	107

言語と入力	182
言語 / 地域のデフォルトを使用する	183
言語と入力	182
検索エンジン	106
光学式手ブレ補正	116
公共モード(電源OFF)設定	85
高コントラストテキスト	180
公式アカウント	99
公式アカウント機能を利用する	99
公衆電話着信拒否	85
構図補正した静止画の表示	119
候補学習	48
候補表示エリア	48
声でアクション	143
声でエモバーを呼び出し	143
国際ダイヤルアシスト	204
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	202
国際電話(WORLD CALL)	78
国際プレフィックス	204
国際ローミング(WORLD WING)の概要	199
国際ローミングの設定	204
このデバイス	196
コントロール表示位置	135

さ

サービス接続先	49
再起動	39
最後にフル充電してからの使用時間	160
最大音量を使用する	104
サイトの設定	107
サイトの表示	105

サイレント モード	181
削除	90
撮影画面の見かた	110
残像	114
時刻	183
辞書	47
システム	182
視聴／録画予約	134
自動大文字変換	48
自動カーソル移動	49
自動外部変換	49
自動画面点灯	168
自動スペース入力	48
自動調整バッテリー	160
自動入力サービス	182
自動変換機能	204
字幕切替	136
字幕の設定	180
指紋	171
指紋認証	175
写真	114
写真サイズ	116
写真や動画	99
週間天気表示設定	141
住所やその他の情報	106
充電	37
充電開始時	162
充電時の音とバイブレーション	165
終話時	162
受信画面および着信音確認	104
消音・拒否	86
証明書のインストール	154

ショートカットを作成	90	静止画を含む動画の再生	119
ショートムービーの再生	120	製品情報	135
初期設定	52	世界時計	139
白とび／黒つぶれ表示	117	セキュリティ	171
信頼エージェント	172	接写	114
水準器	117	接続済みのデバイス	
数字キーを表示	48	接続済みのデバイス	157
スグ電設定	86	パソコンなどとの接続	196
スクリーンショットの撮影	44	接続不良のとき無効にする	154
スクリーンセーバー	161	切断	86
スクロールオート	167	設定項目を検索	187
スケジュール		設定メニュー	151
スケジュール	140	設定リセット	
マナーモードの高度な設定	57	静止画撮影／動画撮影の共通設定	117
リラクスビュー	163	その他	49
スケジュールの設定	160	文字入力の設定	47
ステータスバーへの通知	167	セルフタイマー表示	117
ステータスパネルの利用	55	セルフチェック	187
ストップウォッチ	140	前回のフル充電	160
ストレージ	169	全画面表示	117
ストレージ構成	188	センサー感度補正	186
すべてのアプリを表示	74	全般設定	102
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	185	操作	182
すべての例外を表示	57	操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	180
スペルチェック	182	その他	99
スマホカバー設定	166	ソフトウェアアップデート	215
スレッドの削除	94		
スレッドを削除する	99		
スロー範囲をエクスポート	121		
スロービデオ	114		
スロービデオ動画の再生	120		
静止画の撮影	115		

た

ダークテーマ	
ディスプレイ	161
ユーザー補助	180

対向機にかざす際の注意事項	127	着信／充電ランプ	52
滞在国外(日本を含む)に電話をかける	202	着信通知	85
滞在国内に電話をかける	203	チャンネルリスト作成	131
滞在先で電話を受ける	203	チャンネルを探して作成	131
対象アプリ設定	167	注意事項	144
タイマー	139	長エネスイッチ	160
タイムゾーン	183	ちらつき防止	117
タイムラプス	114	通信事業者の設定	201
ダイヤルパッドの操作音	165	通知	
ダウンロード	107	Chromeの設定	106
ダウンロード辞書	49	アプリと通知	158
ダウンロード辞書を追加	49	+メッセージの設定を変更する	99
ダッシュボード	181	通知の制限	57
タッチ操作音	165	通知不可能着信拒否	85
タッチパネルの操作	40	通知を管理	181
タップ&ペイ	128	通話	57
タップ操作時のバイブ	165	通話音声・伝言メモ	83
単語登録	47	通話音声メモリスト	83
単語リスト	182	通話設定／その他	84
誕生日表示設定	141	通話中の操作	80
端末アプリ情報送信	178	通話の音量	165
端末内やサイトの情報の検索	44	通話モード設定	154
地域を選んで作成	131	通話履歴	82
知的財産権について	229	通話履歴から削除	83
着信音	165	通話履歴の利用	83
着信音の音量	165	使い方ガイド	167
着信音を設定	90	使いこなしガイド	187
着信音を停止	165	停止時間	180
着信拒否設定	85	ディスプレイ	161
着信拒否番号設定	83	データ移行	148
着信時名前非表示	86	データセーバー	152
着信時のバイブレーション	165	データ転送なし	196

データ取り込み	183	伝言メモリスト	83
データの同期	179	転送でんわサービス	85
データの表示／非表示	119	転送でんわサービス(有料)	205
データの振り分け	118	電卓	142
データ引継	183	電池	160
データ放送設定	135	電池残量	160
データローミング	200	電池製造情報	186
テーマ	106	電池の最適化	62
テーマカラー・背景	99	電池の状態	186
テキストメッセージの制限件数	94	電話	75
テキスト読み上げの設定		電話着信中	162
言語と入力	182	電話着信パターン／カラー	162
ユーザー補助	180	電話帳	88
テザリング	156	電話帳画像バックアップ	184
デバイス管理アプリ	171	電話帳の確認／利用	89
デバイス情報	186	電話帳の登録	88
デバイス名	186	電話帳を設定	90
デバイスを探す	171	電話番号	186
デフォルト アプリ	158	電話を受ける	79
デフォルトのSMSアプリ	94	電話をかける	75
デフォルトのアラーム音	165	動画サイズ	117
デフォルトの期間	57	動画全体をエクスポート	121
デフォルトの通知音	165	動画の撮影	115
手ブレ補正	117	同期と Google サービス	106
テレビ視聴	131	統合	90
テレビの設定	135	登録外着信拒否	85
テレビ(フルセグ／ワンセグ)	129	特別なアプリアクセス	158
テレビリンク	134	トグル入力	49
電源ボタンで通話を終了	180	時計	138
電源を入れる／切る	39	ドコモnanoUIMカード	31
電源を切る	39	ドコモアプリ管理	178
伝言メモ設定	83	ドコモアプリデータバックアップ	178

ドコモ位置情報	178
ドコモクラウド	178
ドコモサービス初期設定	178
ドコモデータコピー	148
ドコモのサービス／クラウド	178
ドコモメール	92
トラブルシューティング(FAQ)	206
取り扱い上のご注意	16
トルカ	128

な	
長押しする時間	180
ナビゲーションバーを隠す	161
なめらかハイスピード表示	161
日本語	49
日本語候補学習	48
日本語予測変換	48
日本語ワイルドカード予測	48
入力モード切替	47
認証	186
ネット変換エンジン	49
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	183
ネットワークサービス	
国際ローミングの設定	204
通話設定／その他	85
ネットワークサービス(海外)	205
ネットワークとインターネット	152
ネットワークの時刻を使用する	183
ネットワーク評価プロバイダ	154
のぞき見ブロック	
設定	163

のぞき見ブロック	163
----------	-----

は	
バージョン情報	49
バーチャルHDR	161
背景ぼかし	114
配置のバックアップと復元	65
バイブレーション	104
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	180
パスワード	106
パソコンなどとの接続	195
バックアップ	182
バックアップファイルの整理	184
バックアップ・復元	149
発信	86
発信者番号通知	85
発信前に番号を編集	83
発信ランキング	86
半角スペース入力	48
番号指定拒否	91
番号通知お願いサービス	85
番号通知お願いサービス(有料)	205
番号をコピー	83
番号を追加	85
ヒカリエモーション	162
非常用節電モード	44
非通知着信拒否	85
日付	183
日付と時刻	
海外で利用するための設定	201
設定	183

ビデオ	114
ビデオコール	77
表示サイズ	
ディスプレイ	161
ユーザー補助	180
表示する連絡先	90
表示パターン	163
ビルド番号	186
ファイル操作	188
ファイル転送	196
フォーカス設定	117
フォルダを作成	64
フォントサイズ	180
ブックマーク	107
プッシュ信号の入力	76
物理キーボード	182
プライバシー	
Chromeの設定	106
+メッセージの設定を変更する	99
プライバシーポリシー	102
プライベート DNS	152
+メッセージ	95
+メッセージの設定を変更する	99
フリガナ(名前)	90
フリック感度	49
フリック・トグル	47
プリントサービスによる印刷/保存	197
古いメッセージを削除	94
フル充電で無効	160
プレフィックス設定	84
プロキシ設定	152
ふんわり	114

ページの管理	66
ヘルプ	117
変換キー表示(テンキーボード)	48
ポインタの速度	182
防水/防塵性能	22
法的情報	186
ホームアプリの情報	74
ホーム画面一覧	65
ホーム画面の管理	64
ホーム画面のバックアップと復元	73
ホーム画面の見かた	63
ホーム切替	
設定	60
ホーム切替	60
ホームページ	106
保証とアフターサービス	213
保存先設定	117
ホワイトバランス	117
本端末で利用する暗証番号	173
本端末のご利用について	5
翻訳・アプリ連携設定	104

ま

マイク設定	117
マイマガジン	74
マチキャラ設定	65
マチキャラ表示方法	65
マップ	137
マルチウィンドウ	59
マルチオートフォーカス表示	116
ミュート(保留)	86

迷惑電話ストップサービス	85
メール／ウェブブラウザ	92
メールのアカウントの設定	100
メールの削除	102
メールの設定	102
メールの送信	100
メールの表示	
Eメール	101
Gmail	102
メールの返信／転送	101
メッセージ	99
メッセージ受信を再通知する	104
メッセージの削除	94
メッセージの設定	94
メッセージの転送	94
メッセージの表示	93
メッセージの返信	93
メッセージを削除する	99
メッセージを送信する	96
メッセージを転送する	98
メッセージを読む	98
メディアの音量	165
メモ	142
目次	2
文字削除キー動作	49
文字スーパー設定	135
文字入力	45
文字入力のしかた	50
文字入力の設定	47
文字フォント設定	161
持つと画面点灯	168
モデルとハードウェア	186

モノクロ	114
モノラル音声	180
モバイルデータ	154
モバイル ネットワーク	154

や

やさしい日本語表示	104
ユーザー情報	90
ユーザー補助	180
ユーザー補助機能	107
優先ネットワークタイプ	200
輸出管理規制	229
よくあるご質問	187
よくある質問(FAQ)	143
予測変換	48

ら

ライトモード	107
リセット オプション	185
リッチカラーテクノロジーモバイル	166
利用規約・プライバシーポリシー	49
利用時間	158
利用者情報の送信	86
利用状況レポート設定	90
リラックスビュー	163
履歴	107
留守番電話サービス	85
留守番電話サービス(有料)	205
ローミングガイドンス	204
ローミングガイドンス(有料)	205

□ーミング時スグ電無効	86
□ーミング時着信規制	204
□ーミング着信通知	204
□ーミング着信通知(有料)	205
録画	133
録画再生	133
録画設定	135
□ックNo.変更	128
□ック解除時	162
□ック画面	164
□ック画面の通知を整理	164
□ック画面・ホーム一括切替	60
□ック画面メッセージ	164
□ックダウン オプションの表示	164
□ボクル設定	168
□ボクルの詳しい情報はこちら	168
□ボクルの動作	168

わ

ワイルドカード予測	48
ワンセグ／フルセグ受信設定	135
ワンタッチシャッター	116

英数字

ACアダプタで充電	38
AIoT機器との連携	143
AIオート	114
Androidサービス以外の権限	171
Androidバージョン	186
AQUOS便利機能	166

Bluetoothアドレス	186
Bluetooth機能	190
Bluetooth機能の利用	192
Bluetooth通信送受信	193
Bluetooth テザリング	156
Bluetooth で受信したファイル	158
Bright Keep	168
CAS情報の初期化	135
Chrome	105
Chromebook	158
Chrome について	107
Chrome にログイン	106
Chromeの設定	106
Clip Now	167
COCORO ID	143
DCアダプタで充電	38
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	181
docomo LIVE UX	63
Dolby Atmosの設定	165
dアカウント設定	
電話帳を設定	90
ドコモのサービス／クラウド	178
dマーケット	123
dメニュー	123
Eメール	100
Gmail	102
Google	181
Google Play システム アップデート	171
Google Play プロテクト	171
Googleなどのアカウントの設定	178
GPS機能の利用	136
GPS／ナビ	136

GSM	200
HDR動画	161
iDアプリ	129
IMEI	186
IP アドレス	
Wi-Fiの設定	154
デバイス情報	186
MAC アドレス	154
microSDカード	35
microSDカード/USBメモリのフォーマット	169
microSDカードの暗号化/暗号化解除	169
MIDI	196
NFC/おサイフケータイ 設定	128
NFC/おサイフケータイ ロック	127
NFC通信	194
ON/OFF設定	167
PHOTOSHOW(Webページ)	117
PINロックの解除	177
Play ストア	123
PTP	196
QRコード・バーコード認識	116
Reader/Writer, P2P	128
SDカードにデータ保存	183
SIM PINの変更	177
SIMカードのメッセージ	94
SIM カードロック設定	177
SIMカードをロック	177
SIMのステータス	186
SIMロック解除	233
Smart Lock	171
SMS	92
SMS、MMS、メッセージ アプリ	57

USB	157
USBケーブルで充電	39
USB テザリング	156
USBデバッグ切替	178
USBホスト機能	197
VPNの接続	198
VPNの切断	198
VPNの追加	198
Wi-Fi	152
Wi-Fi Direct	154
Wi-Fi MACアドレス	186
Wi-Fiテザリング	156
Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン	171
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	185
Wi-Fi を自動的に ON にする	154
WORLD CALL	78
WORLD WING	199
YouTube	138
3G/GSM	200
4G/3G/GSM(自動)	200
24時間表示	183

■ 目的から探す

基本操作

電源を入れる	39
画面ロックを解除する	39
マナーモードにする	57
ホーム画面の見かた	63
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する	64
文字を入力する	45
ドコモnanoUIMカードを取り付ける／取り外す	31
microSDカードを取り付ける／取り外す	35
電池の消耗を抑える	160

電話

電話をかける	75
電話を受ける	79
相手の音声を大きくする	81
電話帳に登録する	88
電話帳に登録した相手に電話をかける	89
電話の履歴を確認する	82
留守番電話(伝言メモ)を設定する／聞く	83
着信音、通知音の種類や音量を設定する	165
着信を拒否する	85

メール

SMSを使う	92
Gmailを使う	102
ドコモメールを使う	92

緊急速報エリアメールを使う	103
---------------	-----

インターネット

ホームページを見る	105
ブックマーク(お気に入り)に登録する	107

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	154
Wi-Fiのみで利用する(モバイルネットワークのデータ通信を利用しない)	154

カメラ

写真を撮影する	115
動画を撮影する	115
撮影した写真／動画を見る	118
撮影した写真／動画をメールで送る	100
撮影した写真／動画の保存先を設定する	117
バーコード(QRコード)を読み取る	116

便利な機能

便利な機能が知りたい	166
Googleマップで目的地までの道のりを調べる	137
スケジュールに登録／確認する	140
おサイフケータイで買い物をする	125
おサイフケータイをロックする	127
歩数計を使う	146
エモパーを使う	142

スクリーンショットを撮影する	44
画面が暗くなるまでの時間を変更する	161
目覚まし(アラーム)をセットする	138
本体やmicroSDカードのデータを確認する	169
テザリングを設定する	156
手袋をしたまま操作する	161
ディスプレイの照明を明るくする	161

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする	148
データを引き継ぐ	183

故障

故障かな？と思ったら	206
お問い合わせ先	H4
端末を初期化する	185

その他

スペックを確認する	218
アプリをアンインストールする	73
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	195

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード(☎ P.57「マナーモードのモード切替」)

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード(電源OFF)(☎ P.85「ネットワークサービス」)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ(☎ P.165「音」)

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ(☎ P.83「通話音声・伝言メモ」)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス(☎ P.85「ネットワークサービス」)、転送でんわサービス(☎ P.85「ネットワークサービス」)などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクル・ネットワーク
携帯電話やその周辺機器の回収

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー▶ My docomo(お客様サポート)
パソコンから My docomo(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600(無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600(有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

シャープ データ通信サポートセンター

TEL 050-5846-5411

受付時間 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日および所定の休日を除く)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社



マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



Li-ion00

'20.1(3版)
20A YI252③